

いわき市立
美術館年報

平成23年度

目次

沿革	2
展覧会事業	3
常設展	今日の美術 - ART TODAY -
企画展	「ラファエル前派の水彩画-バーン=ジョーンズの模写に挑戦」ワークショップ参加者による作品発表展示
	未来のためのアート
	福岡アジア美術館コレクション展
	いま。つくりたいもの、伝えたいこと。
	ユーモアのすすめ 福田繁雄大回顧展
小企画展	平成23年度「いわき市小・中学生版画展」
	NEW ART SCENE IN IWAKI 吉田精利展
共催展	第40回いわき市民美術展覧会 書の部
	第41回いわき市民美術展覧会
普及事業	40
移動美術館	40
講演会	40
美術講座	40
ギャラリー・トーク	41
ワークショップ	41
実技講座	44
公開制作	45
映像鑑賞会	45
コンサート&パフォーマンス	45
出版	46
実技講習室の公開	47
図書室の公開	47
実習生の受け入れ	47
共催事業	48
所蔵資料	49
美術品収蔵状況	49
美術品の貸し出し状況	49
所蔵資料に関する状況	50
新収蔵作品	51
管理・運営	55
美術館関係法規 いわき市立美術館条例	55
美術館関係法規 いわき市立美術館管理規則	57
平成23年度当初予算	61
利用者一覧	62
名簿	64
施設案内	65
利用案内	66
東日本大震災 報告 I	67
いわき市の被害状況	67
美術館の被害、活動への影響	67

沿革

昭和53年 2月	いわき市民ギャラリー主催による「ヘンリームーア展」が開催され盛況をおさめたことが市民の反響をよび、市立美術館建設の機運が高まる
昭和53年 6月	市総合計画の中で、前期に美術館建設計画を盛り込む
昭和54年 5月	美術館建設基本構想委員会を設置、委員 6 人を委嘱
昭和54年 8月	同委員会より美術館の基本構想について答申
昭和54年11月	基本構想を具体的に検討するため、市民20名による美術館建設審議会を設置
昭和55年 3月	美術品選定評価委員会を設置、委員 5 名を委嘱
昭和55年 9月	美術館・博物館建設準備室を設置
昭和55年 9月	美術館建設審議会から美術館建設について答申
昭和55年10月	基本設計は、指名競争設計方式で行うことを決める
昭和56年 1月	美術館建設基本設計審議会を設置、委員14名を委嘱
昭和56年 1月	同委員会で佐藤武夫設計事務所の案を選定
昭和56年 9月	美術館実施計画書の提出
昭和56年12月	市議会で美術館工事請負契約を決議
昭和56年12月	建設工事着工
昭和58年11月	竣工
昭和58年12月	市議会において美術館条例を決議
昭和59年 4月	美術館組織発足
昭和59年 4月28日	開館
昭和59年 4月29日	一般公開
昭和59年10月10日	いわき市立美術館友の会発足
平成 3年 4月	常設展の観覧料を祝日無料とする
平成 4年 4月	企画展の観覧をもって常設展観覧無料とする 7月、8月の金曜日の夜間開館開始
平成 4年10月	美術館協議会より「いわき市立美術館振興策」が提出される
平成 5年 1月	毎月第2土曜日を小中学生の常設展の観覧無料とする
平成 7年 4月	毎月第2、第4土曜日を小中学生の常設展の観覧無料とする
平成12年 3月	美術館協議会より「いわき市立美術館第2次振興策」が提出される
平成14年 4月	障害者、高齢者の観覧を無料とする。また、児童生徒などが土日に観覧する場合、および学校の教育活動などで観覧する場合の観覧料を無料とする
平成15年 9月～12月	大規模改修工事（休館）
平成19年 3月～ 7月	アスベスト除去工事（休館）
平成23年 3月	東日本大震災



美術館外観

今日の美術 —ART TODAY—

当館の常設展は、1900点余りの収蔵作品を大きく半年ごとに前期と後期に分け、さらに3ヵ月ごとの小企画を交えながら、同時代の新しい考えや価値観が反映された現代の美術作品をより多角的な視点から鑑賞していただけるように運営している。

本年度は、東日本大震災の影響により、4月30日からのオープンとなった。

前期の「アンフォルメル：混沌の中から」では、アンリ・ミショー、カレル・アペル、アントニオ・タピエス、今井俊満、元永定正などの作品により20世紀後半に世界的に巻き起こった熱き抽象の世界の一端を紹介した。後期展は、イヴ・クライン、アルマン、セザール、アンディ・ウォーホル、ジャスパー・ジョーンズ、篠原有司男など20世紀後半の大量消費と急激な情報化の中、知的な思考で

現実社会をリアルに映し出した作品群による「リアルな日常—社会と芸術の交感」を開催した。

また、前期の小企画は木を素材やテーマとした「木について」（前期Ⅰ）、人の眼の錯覚をつくオプティカルな作品による「視覚を揺るがす、心をくすぐる」（前期Ⅱ）、後期は版画集や詩画集などを紹介する「綴られた美しさ—版画集の楽しみ」（後期Ⅰ）、写真の技術を駆使した表現を紹介する「現代美術になった写真」（後期Ⅱ）を、それぞれ実施した。

関連の普及事業として、定例ギャラリートークやワークショップ、パフォーマンス、夏休み恒例のワークショップ「美術館的‘自由研究ノススメ’」などを行いより楽しく、より身近に、より深く鑑賞する機会を創出した。

会期	前期Ⅰ	2010年 4月30日(土)~2010年 6月26日(日)
	前期Ⅱ	2010年 6月28日(火)~2010年 9月25日(日)
	後期Ⅰ	2010年 9月27日(火)~2010年12月11日(日)
	後期Ⅱ	2010年12月13日(火)~2011年 3月31日(土)
会場	いわき市立美術館 常設展示場	
主催	いわき市立美術館	



後期Ⅱ 会場風景

作品リスト

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	寸法(たて×よこ×高さcm)	技法・材質
【前期 I】						
■アンフォルメル — 混沌の中から —						
1	アンリ・ミショー	1899-84	無題	1960	78×106	インク・紙
2	ルーチョ・フォンタナ	1899-68	作品	不詳	61×49.5	リトグラフ・紙
3	カレル・アペル	1926-06	黄色い帽子	1964	81×65	油彩・カンヴァス
4	ジョン・ミッチェル	1926-92	紫色の木	1964	161.8×114	油彩・カンヴァス
5	サム・フランシス	1923-94	赤い十字架	1981	76×64	モノタイプ・紙
6	ピエール・アレシンスキー	1927	新聞雑報	1959	100×149.5	油彩・カンヴァス
7	ピエール・アレシンスキー	1927	護り神	1980	200×300	アクリル彩・和紙、カンヴァス
8	ジャン・デュビュッフェ	1901	帽子を被った男	1961	66×50.3	リトグラフ・紙
9	ジャン・デュビュッフェ	1901	仕事と遊び	1953	66×50.2	リトグラフ・紙
10	アントニ・タビエス	1923	マチエールとひっかき	1969	35.5×50	エッチング・紙
11	アントニ・タビエス	1923	パンチで打った数字の8	1976	70×46	エッチング、リトグラフ・紙
12	アントニ・タビエス	1923	X = A	1975	43.5×69	エッチング、リトグラフ・紙
13	難波田龍起	1905	狂詩曲	1962	130×162	油彩、エナメル・カンヴァス
14	杉全 直	1914-94	きっこう 白	1962	131×161.5	油彩・カンヴァス
15	元永定正	1922	作品	1961	183×137.5	エナメル、キャンヴァス・合板
16	白髪一雄	1924-08	天殺星黒旋風李達	1962	182.5×273	油彩・カンヴァス
17	田淵安一	1921-09	三元素—風、火、水	1961	195.5×450	油彩・カンヴァス
18	堂本尚郎	1928	1960-5	1960	133×99.5	油彩・カンヴァス
19	高松次郎	1936-98	点	1961	61.8×42	油彩・カンヴァス
20	高松次郎	1936-98	点	1962	27.5×22.5	紐、ラッカー・木
21	松本陽子	1936	自然の中の形象	1990	187×227	アクリル・カンヴァス
22	辰野登恵子	1950	Work 79-P-15	1975	194×260	油彩・カンヴァス
23	河口龍夫	1940	ダークボックス	1975	35×60×37	鉄・闇
24	河口龍夫	1940	ダークボックス 1998	1998	150×70×70	鉄・闇
■小企画 — 木について —						
25	F. フンデルトワッサー	1928-00	ボフツカワの木と移ろう恋—パースでの1週間	1975	68.6×96.5	ミクストメディア・ファイバーボード
26	F. フンデルトワッサー	1928-00	緑の力	1976	83×63.5	シルクスクリーン、メタルプリント・紙
27	ジム・ダイン	1935	森の中のふたつのハート	1981	91.3×152.6	シルクスクリーン、リトグラフ・紙
28	デイヴィッド・ナッシュ	1945	プレイング・ゴーイング	1989	100×185	木炭・紙
29	ジュゼッペ・ベノーネ	1947	川になる 3	1992	30×40×30	大理石 (2個)
30	李 禹煥	1936	刻みより	1973	137.3×188	木
31	田淵安一	1921	地下の樹	1979	200×200	油彩・カンヴァス
32	中村一美	1956	奥から前面への植樹	1985	250×270	油彩・カンヴァス
33	最上寿之	1936	笑、笑、笑、笑	1963	165×96×52.5	木
34	若林 奮	1936-03	無題 1～12	1987	23×19.3(12点組)	鉛筆、インク、水彩・紙
35	彦坂尚嘉	1946	P.W.P.20 (サーカス)	1979	117.6×94.7×8.6	アクリル・木
36	森川浩孝	1965	山のかたち (ドローイング 1)	1999	91.5×117	アクリル・木 (ワッ)
37	森川浩孝	1965	山のかたち (ドローイング 2)	1999	91.5×117	アクリル・木 (ワッ)
38	齋藤 隆	1943	樹 (天)	1998	60×90	墨・和紙
39	齋藤 隆	1943	樹 (地)	1998	60×90	墨・和紙
■ロビー展示						
	ニキ・ド・サンファール	1930-02	鏡 (5月31日から展示)	1980	104×152×12.5	ポリエステル・鏡

【前期 II】

■アンフォルメル — 混沌の中から —

1	アンリ・ミショー	1899-84	無題	1960	78×106	インク・紙
2	ルーチョ・フォンタナ	1899-68	作品	不詳	61×49.5	リトグラフ・紙
3	カレル・アペル	1926-06	黄色い帽子	1964	81×65	油彩・カンヴァス
4	ジョン・ミッチェル	1926-92	紫色の木	1964	161.8×114	油彩・カンヴァス

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	寸法(たて×よこ×高さcm)	技法・材質
5	サム・フランシス	1923-94	赤い十字架	1981	76×64	モノタイプ・紙
6	ピエール・アレシンスキー	1927	新聞雑報	1959	100×149.5	油彩・カンヴァス
7	ピエール・アレシンスキー	1927	護り神	1980	200×300	アクリル彩・和紙、カンヴァス
8	ジャン・デュビュッフェ	1901	帽子を被った男	1961	66×50.3	リトグラフ・紙
9	ジャン・デュビュッフェ	1901	仕事と遊び	1953	66×50.2	リトグラフ・紙
10	アントニ・タピエス	1923	マチエールとひっかき	1969	35.5×50	エッチング・紙
11	アントニ・タピエス	1923	パンチで打った数字の8	1976	70×46	エッチング、リトグラフ・紙
12	アントニ・タピエス	1923	X = A	1975	43.5×69	エッチング、リトグラフ・紙
13	難波田龍起	1905	狂詩曲	1962	130×162	油彩、エナメル・カンヴァス
14	杉全 直	1914-87	きっこう 白	1962	131×161.5	油彩・カンヴァス
15	元永定正	1922	作品	1961	183×137.5	エナメル、キャンヴァス・合板
16	白髪一雄	1924	天殺星黒旋風李達	1962	182.5×273	油彩・カンヴァス
17	田淵安一	1921	三元素一風、火、水	1961	195.5×450	油彩・カンヴァス
18	堂本尚郎	1928	1960-5	1960	133×99.5	油彩・カンヴァス
19	高松次郎	1936-98	点	1961	61.8×42	油彩・カンヴァス
20	高松次郎	1936-98	点	1962	27.5×22.5	紐、ラッカー・木
21	松本陽子	1936	自然の中の形象	1990	187×227	アクリル・カンヴァス
22	辰野登恵子	1950	Work 79-P-15	1975	194×260	油彩・カンヴァス
23	河口龍夫	1940	ダークボックス	1975	35×60×37	鉄、闇
24	河口龍夫	1940	ダークボックス 1998	1998	35×60×37	鉄、闇
25	河口龍夫	1940	タイムボックス-過去・現在・未来	2009	70×50×13	鉄、フロタージュされた和紙、写真
■小企画 — 視覚を揺るがず、心をくすぐる —						
26	草間彌生	1929	Interminable Net No.1	1959	147.6×142	油彩・キャンヴァス
27	草間彌生	1929	最後の晩餐	1981	115×340×280	布、椅子、机
28	山口勝弘	1928	赤い街	1957	59.5×90	油彩・ガラス (ヴィトリース)
29	オノサトトシノブ	1912	作品	1975	61×73.1	セリグラフ・紙
30	オノサトトシノブ	1912	作品	1975	60.5×72.3	セリグラフ・紙
31	オノサトトシノブ	1912	作品	1975	60.5×72.2	セリグラフ・紙
32	オノサトトシノブ	1912	作品	1975	60.5×72.2	セリグラフ・紙
33	北代省三	1921-02	窓の中の二つの扉	1953	90×90	油彩・カンヴァス (1989年再制作)
34	吉沢美香	1959	は-12	1990	201×403	PPインキ・ポリプロピレン
35	吉沢美香	1959	ドローイング	1989	22.5×39.5	水性クレヨン・紙
36	吉沢美香	1959	ドローイング	1990	35.5×50	水性クレヨン・紙
37	吉沢美香	1959	ドローイング	1990	40×50	水性クレヨン・紙
38	吉沢美香	1959	ほ-49 (ドローイング)	1991	36×49	水性クレヨン・紙
39	吉沢美香	1959	ほ-51 (ドローイング)	1991	29×37	水性クレヨン・紙
40	吉沢美香	1959	ほ-56 (ドローイング)	1991	28×37	水性クレヨン・紙
41	吉沢美香	1959	ほ-70 (ドローイング)	1991	39×51.5	水性クレヨン・紙
42	吉沢美香	1959	と-7 (ドローイング)	1991	29×37.5	水性クレヨン・紙
43	河原 温	1933	印刷絵画 No.4 砦	1959	34.5×51	オフセット・紙
44	河原 温	1933	印刷絵画 ニグロの顔	1959	76×51	オフセット・紙
45	河原 温	1933	印刷絵画 絵画と人間	1959	76×51	オフセット・紙
46	ヴィクトル・ヴァザルリ	1908-97	TAVAS	1967-68	101×101	テンペラ・カンヴァス
47	ブリジット・ライリー	1944	オルフェウス悲歌 II	1978	140.5×130	アクリル彩・リンネル
48	ラファエル・ソト	1923	白と黄と青と黒	1980	200×200×17	木、金属
49	ローマン・オパウカ	1931	アダムとイヴ	1968	59×49	エッチング・紙
50	ローマン・オパウカ	1931	大洪水	1968	59.7×49	エッチング・紙
51	ローマン・オパウカ	1931	“3 3 3”	1969	59×49	エッチング・紙
52	ローマン・オパウカ	1931	輪廻	1970	49.5×61.5	エッチング・紙
53	ヤーコブ・アガム	1928	アガモグラフィティー “フェスティバル”	1972-75	39.3×37	セリグラフ・プラスチック
■ロビー展示						
54	ニキ・ド・サンファール	1930-02	鏡 (7月20日から展示)	1980	104×152×12.5	ポリエステル・鏡

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	寸法(たて×よこ×高さcm)	技法・材質
【後期 I】						
■リアルな日常 ～社会と芸術の交感						
1	セザール	1921	コンプレッション 2	1976	100.2×90.2	カードボード
2	クリスト	1935	梱包された裸婦	1968	56×71.2	コラーージュ (紙、ビニール、ヒモ)
3	クリスト	1935	ヴィットリオ・エマヌエレ広場の梱包された記念碑	1975	71×55.5	リトグラフ、コラーージュ・紙
4	イヴ・クライン	1928-62	人体測定 ANT66	1960	157×311	水性メディウム・紙・カンヴァス
5	アルマン	1928	ダマスカスの婦人の腰	1974	164×124×13	コントラバス、弓、コンクリート
6	サイ・トゥオンブリー	1928	What Wing Can Be Held?	1962	152.5×199	油彩・カンヴァス
7	ジェイムズ・ローゼンクイスト	1933	成長計画	1966	178×356	油彩・カンヴァス
8	アンディ・ウォーホル	1930	16 のジャッキーの肖像	1964	204×164	アクリル彩、エナメル、シルクスクリーン・カンヴァス
9	ロイ・リクテンスタイン	1923	二つの円のある現代絵画	1966	153×122	油彩・カンヴァス
10	ロバート・ラウシェンバーク	1925-08	Sky Garden	1969	225×106	シルクスクリーン、リトグラフ・紙
11	ジム・ダイ	1935	森の中の二つのハート	1981	91.3×152.6	シルクスクリーン、リトグラフ・紙
12	ロイ・リクテンスタイン	1923	スウィート・ドリームス・ベイビー	1965	95.6×70.2	シルクスクリーン・紙
13	アンディ・ウォーホル	1930	ジャッキー	1965	101.4×76.2	シルクスクリーン・紙
14	ジャスパー・ジョーンズ	1930	色数字 1～9	1969	96.5×78.5	リトグラフ・紙
15	ジェイムズ・ローゼンクイスト	1933	愛のために	1965	90×70	シルクスクリーン・紙
16	リチャード・ハミルトン	1922	インテリア	1964-66	49×63.6	シルクスクリーン・紙
17	中西夏之	1935	コンバクトオブジェ (卵)	1962	15×15×23	ポリエスチレン、時計など
18	篠原有司男	1932	源氏シリーズ 2	1982	56.8×72	フェルトペン、インク、紙、プラステック・紙
19	篠原有司男	1932	シテイバスとマジンガー Z	1982	56×72	フェルトペン、インク、紙、プラステック・紙
■小企画 綴られた美しさ — 版画集の楽しみ —						
	ジョルジュ・ルオー	1871-58	「流れる星のサーカス」より	1935		アクアチント・紙 (17点組)
			1 扉絵 見世物小屋の呼び込み		30.2×20.4	
			2 黒いピエロ		30.2×20.4	
			4 こびと		30.2×20.4	
			6 小さな女曲馬師		30.2×20.4	
			10 親代々の旅芸人		30.2×20.4	
			11 アーサー親方		30.2×20.4	
			17 眠れ、よい子よ		30.2×20.4	
	アンリ・マティス	1869-54	「ジャズ」より	1947		ステンシル・紙 (20点組)
			2 サーカス		36×55	
			5 馬と騎士と道化役者		42×64	
			7 ハート		38×61	
			8 イカロス		41×57.5	
			10 ピエロの埋葬		42×65	
			13 剣を呑む人		39×60	
	マルク・シャガール	1889-85	「サーカス」より	1967		リトグラフ・紙 (38点組)
			6 無題		42.5×32.5	
			8 無題		42.5×32.5	
			18 無題		42.5×32.5	
			19 無題		42.5×32.5	
			25 無題		42.5×32.5	
			29 無題		42.5×32.5	
			37 無題		42.5×32.5	
	ヴィクトル・ヴァザルリ	1908	「明晰」	1968-70		シルクスクリーン・紙 (10点組)
			1 Titlepage		34×34	
			2 Qeveng		40.4×40.4	
			3 Vonal		39.8×40	
			4 Deuton		47×40.6	
			8 Opale		40×40	
			9 Dia-or		39.5×39.5	
			10 Ouazar-Ez		39.5×39.5	

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	寸法(たて×よこ×高さcm)	技法・材質
	荒川修作	1936	「意味されるもの、あるいはもしも」	1975-76		エッチング・彩色 (7点組)
			意味されるもの、あるいはもしも 1		60.5×90	
			意味されるもの、あるいはもしも 2		60.5×90	
			意味されるもの、あるいはもしも 3		60.5×90	
			意味されるもの、あるいはもしも 4		60.5×90	
			意味されるもの、あるいはもしも 6		60.5×90	
	野中ユリ	1938	「イリュミネーション」	1975		リトグラフ、コロタイプ・紙 (5点組)
			1 大洪水の後		55×41.2	
			2 神秘		57.2×42.5	
			3 神秘		55×41.3	
			4 花々		55.5×41.3	
			5 野蛮		55×43	
	浜口陽三	1909	「Hamaguchi's six original color mezzotints」	1978		カラーメゾチント・紙 (6点組)
			1 ザクロ		11.5×11.5	
			2 てんとう虫		11.5×11.5	
			3 サクランボ		11.5×11.5	
			4 アスパラガス		11.5×11.5	
			5 毛糸の玉		11.5×11.5	
	山野辺義雄	1936	「小人の国の水族館」	1975		エッチング、アクアチント・紙(6点組)
			1 シーラカンス		22.5×36	
			2 ユステノプテロン		22.5×36	
			3 オステオレピス		22.5×36	
			4 ポリスオレピス		22.5×36	
			6 アカントデス		22.5×36	
	駒井哲郎	1920-76	詩画集「よごれてゐない1日」	1970	25.5×27	インタリオ・紙 (挿画11点)
	秀島由己男	1934	詩画集「彼岸花」より	1974		メゾチント・紙 (8点組)
			1 彼岸花		36×13.5	
			7 出魂		36×13.5	
	香月泰男	1911-74	版画集「北海道」より	1971		リトグラフ・紙 (12点組み)
			1 層雲峡		34×25.5	
			2 摩周湖		34×25.5	
			4 大雪山連峰		34×25.5	
			5 阿寒の山肌		34×25.5	
			6 北見		34×25.5	
			11 オホーツクの朝		34×25.5	
	三木富雄	1938-78	耳	不詳	12×143.1×49.8	アルミニウム
	荒木高子	1921-04	原爆の証言	1983	23×43×35	陶

【後期Ⅱ】

■新しいリアリズムのひろがり — 20世紀的 リアルな表現—

1	セザール	1921-98	コンプレッション 2	1976	100.2×90.2	カードボード
2	クリスト	1935	梱包された裸婦	1968	56×71.2	コラージュ (紙、ビニール、ヒモ)
3	クリスト	1935	ヴィットリオ・エマヌエーレ広場の梱包された記念碑	1975	71×55.5	リトグラフ、コラージュ・紙
4	イヴ・クライン	1928-62	人体測定 ANT66	1960	157×311	水性メディウム・紙・カンヴァス
5	アルマン	1928-05	ダマスカスの婦人の腰	1974	164×124×13	コントラバス、弓、コンクリート
6	サイ・トゥオンブリー	1928-11	What Wing Can Be Held?	1962	152.5×199	油彩・カンヴァス
7	ジェイムズ・ローゼンクイスト	1933	成長計画	1966	178×356	油彩・カンヴァス
8	ジェイムズ・ローゼンクイスト	1933	愛のために	1965	90×70	シルクスクリーン・紙
9	アンディ・ウォーホル	1930-87	16のジャッキーの肖像	1964	204×164	アクリル彩、エナメル、シルクスクリーン・カンヴァス
10	ロイ・リクテンスタイン	1923-97	二つの円のある現代絵画	1966	153×122	油彩・カンヴァス
11	ロバート・ラウシェンバーグ	1925-08	Sky Garden	1969	225×106	シルクスクリーン、リトグラフ・紙
12	ジム・ダイ	1935	森の中の二つのハート	1981	91.3×152.6	シルクスクリーン、リトグラフ・紙
13	ロイ・リクテンスタイン	1923-97	スウィート・ドリームス・ベイビー	1965	95.6×70.2	シルクスクリーン・紙
14	アンディ・ウォーホル	1930-87	ジャッキー	1965	101.4×76.2	シルクスクリーン・紙

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	寸法(たて×よこ×高さcm)	技法・材質
15	ジャスパール・ジョーンズ	1930	色数字 0	1969	96.5×78.5	リトグラフ・紙
16	ジェイムズ・ローゼンクイスト	1933	愛のために	1965	90×70	シルクスクリーン・紙
17	リチャード・ハミルトン	1922-11	インテリア	1964-66	49×63.6	シルクスクリーン・紙
18	三木富雄	1938-78	耳	不詳	12×143.1×64	アルミニウム
19	中西夏之	1935	コンパクトオブジェ (卵)	1962	15×15×23	ポリエステル、時計など
20	篠原有司男	1932	源氏シリーズ 2	1982	56.8×72	フェルトペン、インク、紙、プラステック・紙
21	篠原有司男	1932	シティバスとマジンガー Z	1982	56×72	フェルトペン、インク、紙、プラステック・紙

■小企画—美術になった写真たち—

22	小本章	1935	SEEING 81-11	1990	100×73	チバカラープリント
23	横尾忠則	1936-85	葬列 II	1969-85	75×114	シルクスクリーン・アクリル
24	木村光佑	1936	現在位置 フレーミング A	1971	74.5×107.2	リトグラフ、シルクスクリーン・紙
25	木村光佑	1936	現在位置 フレーミング B	1971	74.5×107.2	リトグラフ、シルクスクリーン・紙
26	野田哲也	1940	日記 1973 年 10 月 25 日	1973	50.6×71.3	シルクスクリーン・紙
27	野田哲也	1940	日記 1976 年 2 月 15 日	1976	46.5×70	シルクスクリーン・紙
28	野田哲也	1940	日記 1976 年 8 月 19 日	1976	70.5×47	シルクスクリーン・紙
29	河口龍夫	1940	関係—教育・エドゥカティオ 11	1992	28.1×39.1×30.9	履修要覧、合板、銅、真鍮、和紙
30	河口龍夫	1940	関係—教育・エドゥカティオ 25	1994	28.2×21×25.6	芸術専門学群シラバス、木、銅、真鍮、蜜蝋
31	河口龍夫	1940	関係—教育・エドゥカティオ 27	1994	26.3×25.7×41.7	開設授業科目一覧、木、銅、真鍮、鍍金によるドローイング
32	河口龍夫	1940	関係—教育・エドゥカティオ 38	1995	15.5×41.5×31.5	総合科目ガイドブック、銅、真鍮
33	池田良二	1947	RBORN DOOR (再生される扉)	1988	96×70	フトレッチング、エッチング、アクリル、汚染剤・紙
34	池田良二	1947	CIRCUMSTANCES (境遇)	1988	96×75	フトレッチング、エッチング、アクリル、汚染剤・紙
35	森村泰昌	1951	美術史の娘 女王 B	1990	210×160	カラー写真、透明メディウム
36	森村泰昌	1951	批評とその愛人 A	1990	180×225	カラー写真、透明メディウム
37	川俣 正	1953	コンストラクション・サイト・プロジェクト ワーキングノート	1994	62×87	ペン、インク、鉛筆・パネル (2点)
38	川俣 正	1953	コンストラクション・サイト・プロジェクト フォトドキュメント	1994	62×87	ペン、インク、鉛筆・パネル (3点)
39	川俣 正	1953	コンストラクション・サイト・プロジェクト カラーフォトパネル	1994	150×100	写真・パネル
40	小山穂太郎	1955	無題	1986	110×170	ゼラチン・シルバー・プリント、漂白
41	小山穂太郎	1955	無題	1986	110×170	ゼラチン・シルバー・プリント、漂白
42	小山穂太郎	1955	無題	1986	110×170	ゼラチン・シルバー・プリント、漂白
43	佐藤時啓	1957	Breath-Graph 1	1990	182×218	写真・透明メディウム
44	佐藤時啓	1957	Breath-Graph #25	1990	182×218	写真・透明メディウム
45	嶋 剛	1981	無題 B	1981	228×182	アクリル彩・カンヴァス
46	関根伸夫	1942	位相—大地	1986	100×200	シルクスクリーン・紙

「ラファエル前派の水彩画—バーン=ジョーンズの模写に挑戦」

ワークショップ参加者による作品発表展示

この展覧会は、平成 22 年度に開催したワークショップの参加者による作品発表展示である。3月11日の東日本大震災により開催できずにいた事業を安全が確保された4月末より改めて開催したもの。

今回のワークショップでは、画家であり古典技法の研究者でもある十二芳明氏を講師に、19世紀末イギリスで活躍したラファエル前派の画家たちが用いた古典技法をベースとしたグワッシュの独特な使い方を学び、その代表的画家エドワード・バーン=ジョーンズの作品模写に取り組んだ。長時間かけて一つの作品と向き合うことで、画家が見つめ描きたかった世界に思いを巡らせ、画家が駆使した技法について深く親しむ時間となった。

作品発表展示は、参加者が各自挑戦した成果発表としての模写作品に加え、同じ技法を応用してチャレンジした各自のオリジナル作品も出品される。

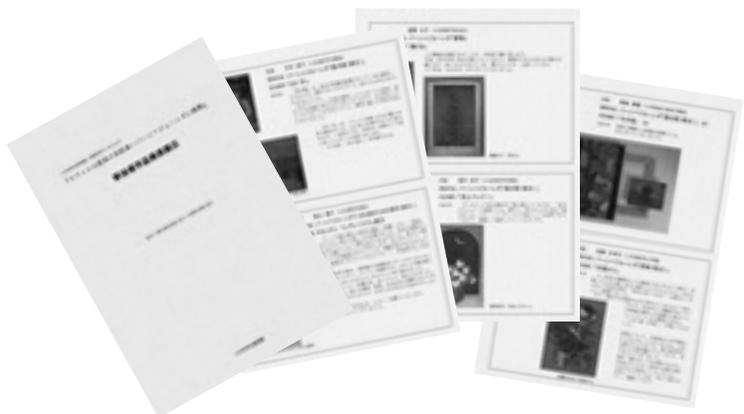
東日本大震災によって、参加者はみな大なり小なり地震や津波、原発事故の被害を受けていた。会期を順延して準備を再開した当初は、混乱を理由に出品を断念する声も聞かれた。しかし、作品発表を目標に制作に熱中することで参加者全員が震災の恐怖や不安や喪失感から脱却することができ、だれ一人脱落することなく27点の作品発表にこぎつけた。これこそが、この企画を実施して一番の成果であったと確信している。



会 期 2011年4月30日(土)～5月29日(日)
会 場 1階ロビー
主 催 いわき市立美術館



案内チラシ



パンフレット

出品リスト

作品名	作家名
1 バーン＝ジョーンズ《節制（部分）》 摸写	網代晃一（いわき市中央台）
2 バーン＝ジョーンズ《フィデイス（信頼）部分》 摸写	薄 芳武（郡山市緑ヶ丘）
3 バーン＝ジョーンズ《節制》 摸写	遠藤礼子（いわき市平北白土）
4 続く日	遠藤礼子（いわき市平北白土）
5 バーン＝ジョーンズ《愛の歌（部分）》 摸写	木村律子（いわき市平中神谷）
6 白い手	木村律子（いわき市平中神谷）
7 バーン＝ジョーンズ《愛の歌（部分）》 摸写	齋藤博英（いわき市常磐上湯長谷町）
8 花	齋藤博英（いわき市常磐上湯長谷町）
9 静物	齋藤博英（いわき市常磐上湯長谷町）
10 常住	齋藤博英（いわき市常磐上湯長谷町）
11 本有常住	齋藤博英（いわき市常磐上湯長谷町）
12 バーン＝ジョーンズ《節制（部分）》 摸写	坂本俊樹（いわき市岩間町）
13 バーン＝ジョーンズ《いばら姫のための習作（部分）》 摸写	桜山潤子（いわき市中央台）
14 ロセッティ《レディ・リリス（部分）》 摸写	桜山潤子（いわき市中央台）
15 バーン＝ジョーンズ《節制（部分）》 摸写	佐藤江利子（いわき市平上平窪）
16 中庭から	佐藤江利子（いわき市平上平窪）
17 バーン＝ジョーンズ《フィデイス（信頼）部分》 摸写	下山田晴彦（いわき市平北白土）
18 綱引き	下山田晴彦（いわき市平北白土）
19 月の電話	下山田晴彦（いわき市平北白土）
20 バーン＝ジョーンズ《節制（部分）》 摸写	高田和明（いわき市平）
21 バーン＝ジョーンズ《いばら姫のための習作（部分）》 摸写	田上将夫（いわき市平下平窪）
22 バーン＝ジョーンズ《愛の歌（部分）》 摸写	武内京子（いわき市平中神谷）
23 月とパンジー	武内京子（いわき市平中神谷）
24 バーン＝ジョーンズ《愛の歌（部分）》 摸写	野島美穂（いわき市小名浜下神白）
25 その他	野島美穂（いわき市小名浜下神白）
26 バーン＝ジョーンズ《廃墟の恋》 摸写	堀内信幸（いわき市小名浜）
27 回廊にて—郡山市立美術館	堀内信幸（いわき市小名浜）

未来のためのアート

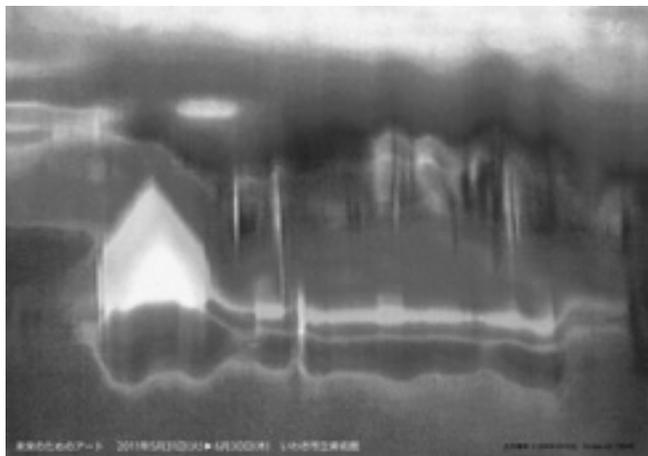
3月11日に発生した東日本大震災の影響により、当初予定していた「香水瓶の世界展」が開催できなくなり、急遽、収蔵品といわきを拠点とする吉田重信の作品とで構成した展覧会である。

作品の選択については、被災地であるいわきの状況を考え、困難な状況だとしても、人々がアートと出会うことによって安らぎや活力などを得、また、世界についての見方を深め、未来に向かって前向きに生きていくことにつながる、そうしたアートとの出会いが生まれることを願いながら行った。例えば、吉田重信の作品は、世界（自然界）は光にあふれ、人間を受け入れる大きな存在であることを想

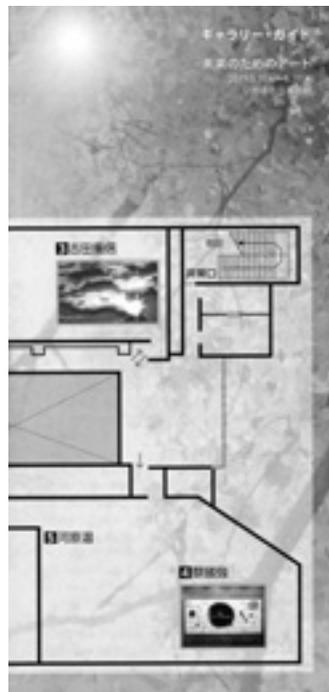
い出させるが、地震が未曾有の災害をもたらしたとしても、人々が世界（自然界）に対して絶望してほしくないという企画者の気持ちから選ばれている。

観覧料は文化面からの復興支援ということで、より多くの人に見てもらうために無料となったが、観覧者数は1,325人と少なかった。アンケートの中では評価してくれた人もいただけに、残念であった。市外からは風評被害の影響が大きく、また、市内においては、放射能の悪影響について考えざるをえないなど、震災後のさまざまなストレスのもとで生きていた環境の中で、美術館へ足を運ぶ余裕はなかったのかも知れない。

会 期 2011年5月31日(火)～6月30日(木)
会 場 企画展示室Ⅰ、Ⅱ
主 催 いわき市立美術館



展覧会チラシ



出品リスト

作家名	作品名	制作年	素材	サイズ
1 吉田重信	1999年8月16日、いわき市	1999	映像(16分18秒)	
2 吉田重信	光跡 1996-2011	2011	写真、ライトボックス	
3 吉田重信	1999年4月30日、Bordeaux	1999	映像(49分41秒)	
4 吉田重信	ヒカリノミチ 2009.2.22	2009	映像(43分52秒)	
5 吉田重信	1998年7月25日、茅野市	1998	写真	
6 吉田重信	1998年7月25日、茅野市	1998	写真	
7 蔡國強	Project for Extraterrestrials 1994	1994	火薬、水墨・和紙	400×900cm
8 蔡國強	日々	1994	紙、木、鉛筆、インク、墨 ほか	(1)メモ・デッサン・書簡・パンフレット等(400点)からなる木製表紙の3冊の本(60×45cm)、 (2)画冊(41×29cm)、 (3)画冊(26×15cm)、 (4)画冊(12×9cm)
9 河原 温	OCT.19,1989	1989	アクリル・カンヴァス	66.0×91.4cm
10 河原 温	MAY 10,1990	1990	アクリル・カンヴァス	66.0×91.4cm
11 河原 温	JUNE 11,1990	1990	アクリル・カンヴァス	66.0×91.4cm
12 宮島達男	Counter History	1989	発光ダイオード、IC、電線、 パネル	(1)570.0×13.0×5.5cm、 (2)411.0×13.0×5.5cm

展覧会事業
企画展

アジア美術が来るぞ! アジアから元気をもらおう!
福岡アジア美術館コレクション展

福岡アジア美術館は、アジアの近現代美術を体系的に収集する世界唯一の美術館であり、3年に一度アジア美術の最新の動向を取りあげる「福岡アジア美術トリエンナーレ」やアジアの近現代美術に関する特別企画展の開催、さらにアジア各地から作家や研究者を招くレジデンス事業などの美術交流を通して積極的にアジアにおける美術の調査、研究、展示を行っており、その活動は国内外において極めて高い評価を得ている。

本展覧会は、世界に誇る福岡アジア美術館コレクションのなかから、西洋との出会いを通して始まるアジアの近代美術とアジア美

術の背後に横たわる民衆による造形表現—フォークアート—、さらに今日世界の注目を集めるアジアの現代美術を取りあげ、近代から現代へ至る多角的なアジア美術の流れを紹介した。

3月11日の東日本大震災及びその後の原発問題などのため、一時開催が危ぶまれたが、福岡アジア美術館の多大なる協力を得て予定通り開催することが出来た。

なお会期中、福岡アジア美術館学芸課長黒田雷児氏の講演会が行われ、今、世界で注目を集めるアジアの現代美術の最新状況を語っていただいた。

会期 平成23年7月16日(土)~9月4日(日)
会場 いわき市立美術館2階企画展示室Ⅰ、Ⅱ及びロビー
主催 いわき市立美術館
協力 福岡アジア美術館



福岡アジア美術館所蔵出品リスト

作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材	国名
■西洋との出会い1					
1 作家不詳	中国人家族のいる冬景色	1810頃	75.2×110.3	油彩・画布	中国
2 ラムクワー工房か	夏の宮殿の皇后	1830頃	82.8×116.5	油彩・画布	中国
3 作家不詳	貴婦人像	19世紀	57.8×44.4	油彩・画布	中国
4 サヤー・チョン	王室の肖像	19世紀末-20世紀初期	67×67	グワッシュ・布	ミャンマー
5 サヤー・ソオ	王室の肖像	19世紀末-20世紀初期	54.7×60.2	グワッシュ・布	ミャンマー
6 サヤー・タウン	王室の肖像	19世紀末-20世紀初期	53×60	グワッシュ・布	ミャンマー
7 作家不詳 (タンジョール派)	タンジョールのマハーラージャ、プラターブ・シンとその息子、トゥラジャジII世	19世紀初頭	28.5×42.5	グワッシュ、金・ボードに紙	インド
8 作家不詳 (パトナー派)	宮廷の屋上でブランコを楽しむ婦人たち	1810頃	28.4×46.3	鉛筆、グワッシュ・紙	インド
9 ゴーピンドラム・チャテラ	アサフ・ウッドウラの肖像	19世紀前半	58.1×38.7	グワッシュ・紙	インド
10 作家不詳 (カンパニー派)	マハーラージャ・サー・マド・シンII世の二人の謁見	1880頃	35×25.2	水彩・紙	インド
11 作家不詳 (カンパニー派)	ラージャーの肖像	1880頃	23×16.6	水彩・紙	インド
12 作家不詳 (カンパニー派)	マンゴの木の下でのクリシュナとラーダー	19世紀末	21.4×18.2	水彩・紙	インド
■西洋との出会い2					
13 キエン・イムスイリ	音楽のリズム	1949	53×39×36	ブロンズ	タイ
14 リュウ・カン (劉抗)	スリッパ	1930	44.5×53.5	油彩・画布	シンガポール
15 ジョーゼット・チェン (張嘉英)	北京風景	1940頃	92.8×73.5	油彩・画布	シンガポール
16 ト・ゴク・ヴァン	二人の女性と幼児	1944	100.5×74.8	油彩・画布	ベトナム
17 ヘンドラ・ゲナワン	しらみ獲りと垢すり	1950頃	119.5×64.8	油彩・画布	インドネシア
18 グエン・カン (阮康)	ホーおじさん、村へ行く	1958	92×190	漆・板	ベトナム
19 グエン・ファン・チャン	オーアंकァン遊び	1931	65.3×87.5	絹本着色	ベトナム
20 ジャミニ・ロイ	母と子	不詳	43.1×29.5	グワッシュ・厚紙	インド
21 ジャミニ・ロイ	子鹿	不詳	43.0×30.4	グワッシュ・厚紙	インド
■フォークアート					
22 ゴーダーワリー・ダッタ	幼年期のクリシュナ	1990	191×101	墨、顔料・コンクリート擬似壁	インド
23 ボウワー・デーヴィー	クリシュナと牛	1996~97	178.5×359.7	墨、顔料・コンクリート擬似壁	インド
24 ジッヴァ・ソーマ・マーシェ	タルパー・ダンス	1998	129.3×269	米汁・コンクリート擬似壁	インド
25 作家不詳 (カンタ)	千花弁の蓮とヒンドウの神々	19世紀中頃	130×200	木綿布・刺繍	バングラデシュ
26 スレイヤ・ラーマン	植民地時代のベンガル/壁掛け	2000	154×106	布に刺繍	バングラデシュ
27 作家不詳 (カーリーガート派)	ガルダを伴うヴィシュヌとラクシュミー	19世紀後半	27.9×22.9	水彩・紙	インド
28 作家不詳 (カーリーガート派)	ラーダーとクリシュナ2	19世紀後半	27.3×22.9	水彩・紙	インド
29 作家不詳 (カーリーガート派)	カーリー	19世紀後半	30.5×23.5	水彩・紙	インド
30 作家不詳 (カーリーガート派)	ガネーシャ	19世紀後半	27.3×22.9	水彩・紙	インド
31 作家不詳 (カーリーガート派)	夫をたたく妻	20世紀初頭	40.5×27	水彩・紙	インド
32 作家不詳 (カーリーガート派)	高級娼婦を抱くインド紳士	20世紀初頭	35.5×25	水彩・紙	インド
33 作家不詳 (カーリーガート派)	ペットの恋人をつれた女性	20世紀初頭	34.5×25	水彩・紙	インド
34 作家不詳 (カーリーガート派)	身支度をする女性	20世紀初頭	23×16.5	水彩・紙	インド
35 ラジャ・ラヴィ・ヴァルマ (ヴァルマ・プリント)	サラスヴァティー #1	20世紀前半	49×35.3	オレオグラフ・紙	インド
36 作家不詳 (ヴァルマ・プリント)	踊るクリシュナ	20世紀前半	34.8×49.3	オレオグラフ・紙	インド
37 作家不詳 (ヴァルマ・プリント)	クリシュナとブラフマー	20世紀前半	32×48.7	オレオグラフ・紙	インド
38 作家不詳 (ヴァルマ・プリント)	ドルヴァとナーラーヤナとラクシュミー	20世紀前半	48×35.3	オレオグラフ・紙	インド
39 作家不詳 (ヴァルマ・プリント)	ダッタートレーヤ	20世紀前半	49.5×35.2	オレオグラフ・紙	インド
40 作家不詳 (ヴァルマ・プリント)	ヴィシュヌ #4	20世紀前半	34.5×49.3	オレオグラフ・紙	インド
41 作家不詳 (カマサン・スタイル)	『ラーマヤナ』	不詳	87.9×160.5	バリ伝統顔料・布	インドネシア
42 ニ・グスティ・アユ・ナティ・アリミニ	葬儀	1985	66.8×86	水彩・画布	インドネシア
43 アナック・アゲン・グデ・メレググ	バーラタ・ユダの戦い	1973	68×100	アクリル・布	インドネシア

作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材	国名
44 作家不詳 (タントラ)	ゴロカ (天国)	1970	16.1×24.8	グワッシュ・紙	インド
45 作家不詳 (タントラ)	チャンドラカラナラム	1980頃	22.7×17.9	グワッシュ・紙	インド
46 作家不詳 (タントラ)	パヨーディ=ジャラ (海の水)	1980頃	23.5×13.2	グワッシュ・紙	インド
47 作家不詳 (タントラ)	無題	1980頃	22.3×16.9	グワッシュ・紙	インド
48 作家不詳 (タントラ)	無題	1980頃	22.5×17.4	グワッシュ・紙	インド
49 作家不詳 (タントラ)	無題	1980頃	22.4×17	グワッシュ・紙	インド
50 作家不詳 (タントラ)	無題	1985頃	24×19.8	グワッシュ・紙	インド
51 作家不詳 (タントラ)	無題	1990頃	18.4×22.5	グワッシュ・紙	インド
52 作家不詳 (タントラ)	無題	1990頃	14.9×22.3	グワッシュ・紙	インド
53 ラジャ・バブ・シャルマー	無題	1989	21.8×17.1	グワッシュ・紙	インド
54 ラジャ・バブ・シャルマー	無題	1989	21.5×15.6	グワッシュ・紙	インド
55 ラジャ・バブ・シャルマー	無題	1990	22.3×17	グワッシュ・紙	インド
56 ラジャ・バブ・シャルマー	無題	1991	15.6×19.8	グワッシュ・紙	インド
57 ウダヤ・チャラン・スレスタ	シャクティ	1995~2003	119×84	油彩・画布、古い硬貨	ネパール
58 ウダヤ・チャラン・スレスタ	マハーラクシュミー	2005	75×45	油彩・画布	ネパール
59 デイネシュ・チャラン・スレスタ	ガンガー	2001	47×36	ポスターカラー・画布	ネパール
60 デイネシュ・チャラン・スレスタ	シヴァとパールヴァーティーの家族	2002	56×48	ポスターカラー・画布	ネパール
61 マヘンドラ・ダンゴル	蓮華手観音菩薩	2004	73.5×55	顔料・画布	ネパール
62 ハ・ジン/ジン画室 (杭韓英/韓英画室)	華成たばこ会社ポスター	1920~30代	72×51	オフセット・紙	中国
63 ハ・ジン/ジン画室 (杭韓英/韓英画室)	五州大薬房ポスター	1920~30代	75.2×52.8	オフセット・紙	中国
64 ウ・シャオユン (呉小雲)	『紅樓夢』瀟湘館の賣宝玉と林黛玉	1955	71×49.7	水彩・紙	中国
65 ウエイ・インジョウ (魏瀛洲)	五穀豊穡	1950代	48.8×75.8	水彩・紙	中国
66 作家不詳 (文革版画)	文革版画 2	1966~67	19.4×26.7	オフセット/植毛印刷・紙	中国
67 作家不詳 (文革版画)	文革版画 5	1966~67	18.6×25.4	オフセット/植毛印刷・紙	中国
68 作家不詳 (文革版画)	文革版画 10	1966~67	35×24.9	オフセット/植毛印刷・紙	中国
69 作家不詳 (文革版画)	文革版画 12	1966~67	58.7×38.2	オフセット/植毛印刷・紙	中国
70 チェン・リージ (成砺志)	幸福な時代	1992	97.5×214	水彩・紙	中国
71 ラジ・クマール・ダス (絵)、 ガッファール・ミストリー (車体)	リキシャ	1994	185×238×110.5	エナメル絵の具、ビニール、 竹、ブリキ、金属、自転車	バングラデシュ
■アジアの現代美術					
72 ナウイン・ラワンチャイクン	静かなる殺人	1992	180×301	鉄、写真、毛髪	タイ
73 リュ・シェンジョン (呂勝中)	○	1991	230.3×675.4	紙 (切り紙)	中国
74 ジュアン・ホエ (莊輝)	1996年10月20日河南省新安县北冶中学校・小学校の教師及び生徒の集合写真	1996	18.5×105.9	クロモジェニックプリント	中国
75 ジュアン・ホエ (莊輝)	1997年8月13日河北省大名県旧陞郷高庄村村民の集合写真	1997	18.5×101	クロモジェニックプリント	中国
76 ジュアン・ホエ (莊輝)	1997年7月2日河南省安陽市第一人民医院の医師及び看護婦の集合写真	1997	18.5×142	クロモジェニックプリント	中国
77 ジュアン・ホエ (莊輝)	1997年7月13日河北省邯鄲市サンシャイン・グループ万達マーケット社員の集合写真	1997	18.5×152	クロモジェニックプリント	中国
78 ボン・ホンヂイ (彭弘智)	1 匹のラッシー	2000	110×110	チバクロームプリント・ライトボックス	台湾
79 ボン・ホンヂイ (彭弘智)	1 匹のダルメシアン	2000	110×110	チバクロームプリント・ライトボックス	台湾
80 ボン・ホンヂイ (彭弘智)	故郷に錦を飾る 5			ビデオ (VCD)	台湾
81 グエン・クワン・ファイ	仏陀が生まれる	1997	140×150	水彩・ライスペーパー	ベトナム
82 グエン・クワン・ファイ	テレビにハローして	1997	140×150	水彩・ライスペーパー	ベトナム
83 グエン・ミン・タン	二つの柱	1997	300×60	水彩・ライスペーパー	ベトナム
84 イ・デワ・プトゥ・モコ	ワニと友だち	1992	60×88.1	アクリル・画布	インドネシア
85 ツァガン・グリーン・エンフジャルガル	月の子どもたち	1993	120.2×150.2	油彩・画布	モンゴル
86 ジャン・シャオガン (張曉剛)	若い娘としての母と画家	1993	148.5×178.5	油彩・画布	中国
87 ファン・リジュン (方力鈞)	シリーズ 2 No.3	1992	200.0×200.0	油彩・画布	中国

作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材	国名
88	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #1	1996~97	64.9×54.2	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
89	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #2	1996~97	65.2×55.3	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
90	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #3	1996~97	64.9×54.2	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
91	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #4	1996~97	64.9×54.2	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
92	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #5	1996~97	64.6×55	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
93	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #6	1996~97	64.8×55.2	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
94	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #7	1996~97	64.9×55.3	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
95	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #8	1996~97	64.9×54.8	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
96	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #9	1996~97	64.9×54.8	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
97	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #10	1996~97	65×55.6	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
98	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #11	1996~97	65×55.3	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
99	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #12	1996~97	65.3×55.4	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
100	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #13	1996~97	65×55.1	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
101	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #14	1996~97	65×55	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
102	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #15	1996~97	64.4×55.2	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
103	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #16	1996~97	65×55	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
104	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #17	1996~97	64.6×55.2	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
105	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #18	1996~97	64.6×55.4	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
106	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #19	1996~97	65×55.4	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
107	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #20	1996~97	65×55.2	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
108	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #21	1996~97	65×55.2	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
109	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #22	1996~97	65×55	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
110	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #23	1996~97	65.2×55	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
111	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #24	1996~97	65×55.4	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
112	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #25	1996~97	65×55.2	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
113	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #26	1996~97	65.2×55.2	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
114	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す # 27	1996~97	65.2×55.2	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
115	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #28	1996~97	65.2×55.2	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
116	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #29	1996~97	64.8×55.1	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
117	ルオ三兄弟(羅氏三兄弟) 我、北京天安門を愛す #30	1996~97	65.2×55.2	写真、コンピューターグラフィック、水彩、漆・板	中国
118	アマンダ・ヘン もうひとりの女 No.1	1996	101.3×126.9	写真	シンガポール
119	アマンダ・ヘン もうひとりの女 No.2	1996	83.1×101.7	写真	シンガポール
120	アマンダ・ヘン もうひとりの女 No.3	1996	50.2×75.2	写真	シンガポール
121	アマンダ・ヘン もうひとりの女 No.4	1996	76.9×104.6	写真	シンガポール
122	アマンダ・ヘン もうひとりの女 No.5	1997	76.5×101.6	写真	シンガポール
123	アマンダ・ヘン もうひとりの女 No.6	1997	101.6×76.2	写真	シンガポール
124	アマンダ・ヘン もうひとりの女 No.7	1997	77.2×103.8	写真	シンガポール
125	アマンダ・ヘン もうひとりの女 No.8	1997	101.6×76.2	写真	シンガポール
126	アマンダ・ヘン もうひとりの女 No.9	1996	75.3×50.5	写真	シンガポール
127	アマンダ・ヘン もうひとりの女 No.10	1996	67.8×100.8	写真	シンガポール
128	アマンダ・ヘン もうひとりの女 No.11	1997	68.7×100.7	写真	シンガポール
129	アマンダ・ヘン もうひとりの女 No.12	1997	76.8×102.2	写真	シンガポール
130	アマンダ・ヘン もうひとりの女 No.13	1997	76.2×101.6	写真	シンガポール
131	アマンダ・ヘン もうひとりの女 No.14	1997	76.3×101.6	写真	シンガポール
132	ラヴィンダル・レッティ 胸を持ち上げる女	1998	175×100.4×99.8	ペンキ、金箔、ポリエステル樹脂ファイバーグラス、木	インド

いま。つくりたいもの、伝えたいこと。

膨大な数の人々の生命と平穏な日常を奪い去り、日本国中を不安と喪失感で覆った東日本大震災。原発事故の深刻な影響下にある福島県においては、完全復興への道程は険しく、人々は大きな屈託を抱えながら暮らしている。震災から半年を経た時期に開催した本展覧会は、「いま。つくりたいこと、伝えたいこと。」をテーマに、いわきで被災した25人の作家が震災後に手掛けた新作約60点と、全国から募った平面作品約200点をあわせて展示した。

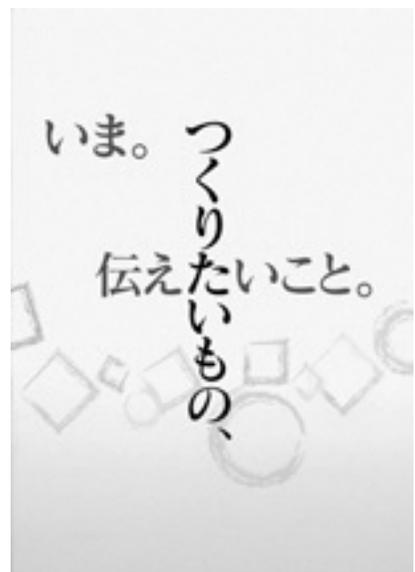
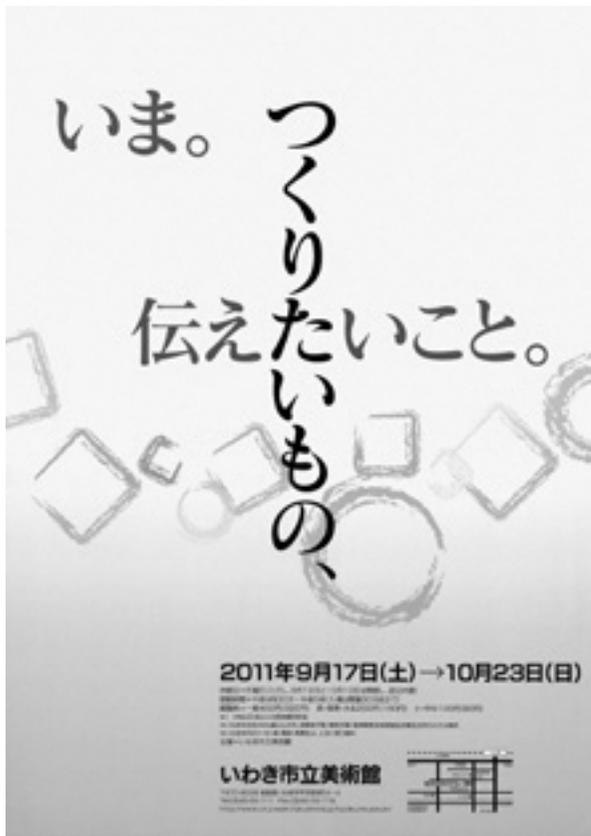
震災直後の困難な状況下での作品制作及び出品を快諾してくれたいわきの作家の作品は、被災地いわきの現在の状況や心情を浮き彫りにしつつ、制作に対する姿勢や美術への思いを毅然と示した。また、市内・県内在住

者をはじめ県外からの出品も目立った公募作品は、幅広い年代による多彩なジャンルの作品が集まり、社会や自分自身に向き合う真摯な態度がうかがえた。

本展は当初予定していた海外展の代替企画であったが、市内外からの反響が大きく、来場者からは、作品に向き合うことで美術がもつ力を改めて感じた、という声が寄せられた。出品作家からも、自身と美術とのかかわりを見つめ直すきっかけになったと同時に、制作への意欲を取り戻した、という声が少なからず聞かれた。

会期中は、吉田重信や林剛人丸のワークショップ、和合亮一の朗読&トークを開催し、好評を得た。

会 期 2011年9月17日(土)~10月23日(日)
会 場 企画展示室Ⅰ、Ⅱ及びロビー
主 催 いわき市立美術館



出品リスト

作家名	生年	作品名	素材・技法	サイズ(cm)縦×横 または高さ×幅×奥行
安齊重夫	1948-	よみがえれ 惑星	鉄 (2点組)	各50×100×70
安藤栄作	1961-	天と地の和解	カシ、マツ	250×40×35.5(台座含む)
		天と和解した人	サクラ、マツ	195×20×17.5(台座含む)
石井 實	1931-	太陽と共に	油彩・カンヴァス	145.5×112.1
石川貞治	1951-	美しい日本の形	ミクストメディア (墨、顔料、コピーほか)	475×105
		風薫る五月 FUKUSHIMA IWAKI 2011 A	墨、顔料・布	475×92
		風薫る五月 FUKUSHIMA IWAKI 2011 B	墨、顔料、金箔、アルミ箔・布	194×46
		新日本国土計画	カラーコピーほか	130×100
		空から	ミクストメディア	120×35×20
石川 進	1942-	乾坤	墨・紙	223×96
		太陽風に乗れ	墨、アクリル・紙	275×162
		P.M. 2:46	墨、アクリル・紙	180×90
磯上芳久	1958-	TREASURES	油彩・カンヴァス	45.5×38.0
織田千代	1955-	砂地の記憶 風	アクリル、オイルパステル・カンヴァス	53.0×40.9
		砂地の記憶 石	アクリル、オイルパステル・カンヴァス	53.0×40.9
		砂地の記憶 草	アクリル、オイルパステル・カンヴァス	53.0×40.9
		夏の花 2011	シルク、綿糸、ワイヤー ほか	80×100×15
		KANATA.	シルク、ウール、ワイヤー ほか	50×150×20
小野重治	1956-	まいこはま	油彩・麻	131×162
上遠野良夫	1944-	3.11 被曝した清流の四季(小川町戸渡木戸川上流)	カラー写真(4点組)	30.5×45が2点、61×40が2点
		3.11 鳴かなくなった砂浜(薄磯海岸)	モノクロ写真(5点組)	30.5×45が1点、61×40が1点
				40×61が1点、25.4×30.5が2点
		災害の爪跡	写真・レンガ、貝	レンガ各20×8×8、貝各8×8
小瀧勝平	1936-	祈(地震・津波・原発)	FRP	175×55×65
塩田清忠	1931-	霧笛'10	油彩・カンヴァス	162.1×130.3
		波'11	油彩・カンヴァス	162.1×130.3
下山田晴彦	1953-	油断した月	リトグラフ・紙	50.5×35.5
		月と音楽家	リトグラフ・紙	35.5×25
		白い輪	リトグラフ・紙	24.3×34.7
		いつの間にか月が私の隣に	リトグラフ・紙	16.3×21
		散歩する月	銅版画・紙	14.5×17.5
鈴木邦夫	1932-	マリーナ	油彩・カンヴァス	194.0×130.3
高野正晃	1965-	太陽があたる場所	FRP	130×140×70
野島美穂	1973-	Self-Portrait voice no.4	墨、コンテ・石膏、板	91×73
		Self-Portrait voice no.22	油彩、OG テンペラ・銀箔、板	91×73
長谷川浩子	1961-	ソラへ	ケヤキ	50×40×30
広瀬 論	1948-	風景(海辺2011)-1	油彩・カンヴァス	162.1×162.1
		風景(海辺2011)-2	油彩・カンヴァス	162.1×162.1
藤於 環	1953-	A311-1	オイルパステル、アクリル・カンヴァス	72.8×91.0
		A311-2	オイルパステル、アクリル・カンヴァス	72.8×91.0
		B311-1	オイルパステル、アクリル・カンヴァス	41.0×31.8
		B311-2	オイルパステル、アクリル・カンヴァス	24.3×33.4
		B311-3	オイルパステル、アクリル・カンヴァス	24.3×33.4
		B311-4	オイルパステル、アクリル・カンヴァス	24.3×33.4
峰 丘	1948-	鳳凰は翔ぶ万年の春	黄金背景テンペラ、アクリル、油彩・ボード	79.5×98
		海よ	黄金背景テンペラ、アクリル、油彩・ボード	50×62
		海よ	黄金背景テンペラ、アクリル、油彩・ボード	38.5×43
		海よ	黄金背景テンペラ、アクリル、油彩・ボード	37.5×42

作家名	生年	作品名	素材・技法	サイズ(cm)縦×横 または高さ×幅×奥行
		海よ	黄金背景テンペラ、アクリル、油彩・ボード	30×38.5
		ヒマワリ	墨、金箔・紙	20×27
		ヒマワリ	墨、金箔・紙	20×27
山本伸樹	1956-	透明な憂鬱に染められた風景	ミクストメディア (プリント、紙、ビニール、アクリル、自然物)	250×300×100
湯川 隆	1961-	時が流れて	テラコッタ・木	180×80×42
吉田重信	1958-	心ノ虹 2011	ミクストメディア	500×300×200
吉田成寿	1965-	玄黄記 - 星めぐり -	ミクストメディア (4点組)	各65×40×40
		玄黄記 - 11・8・25 -	ミクストメディア・カンヴァス	73×73
		玄黄記 - 11・9・2 -	ミクストメディア・カンヴァス	73×73
渡辺 啓	1956-	I am calling you (Helianthus annuus)	写真 (デジタル加工)・紙	300×300×300
渡辺文雄	1939-	刻	油彩・カンヴァス	130.3×162.1
		刻 3.16	水彩・紙	38.0×45.5
		刻 3.17	水彩・紙	38.0×45.5
		刻 3.24	水彩・紙	38.0×45.5

一般公募部門出品リスト

作家名	作品名	作家名	作品名
あかいなつひ(いわき)	キャンドル	丹野 稔(いわき)	生きる
石田俊一(いわき)	未来を灯らす	丹 洋祐(いわき)	うぶたつせん
石森達彦(いわき)	変わらない華	鶴巻綾子(いわき)	Blue Rainbow
石森文夫(いわき)	不死鳥	戸松博通(いわき)	傷跡
泉 武子(いわき)	熱い祭	中川秀男(いわき)	この笑顔をもう一度
井戸川保子(いわき)	起き上がる	中村嘉男(いわき)	マクアイマショウアノヒノヨウニハレタヒニ
薄 美可(いわき)	今を生きる	永山英子(いわき)	Crazy Heart(クレイジーハート)
江尻敏昭(いわき)	天空の祈り	永山 淳(いわき)	精霊安らかに
江尻敏子(いわき)	流灯ながし	青天目起江(いわき)	緑の涅槃図
江尻るみ子(いわき)	明日へ	二階堂朋也(いわき)	From the loss to future
遠藤礼子(いわき)	水と水 2011.08	二宮若佐(いわき)	ガンバッペいわき
太田昭子(いわき)	未来の子供達へ!!	根本純子(いわき)	感謝と希望
岡 光明(いわき)	願い	長谷川恵子(いわき)	ハイどうぞ
加澤都子(いわき)	三崎の夕景	長谷川智美(いわき)	ココロ
春日部絵梨(いわき)	塩辛いしあわせ	早川洋一(いわき)	捲土重来
上遠野真人(いわき)	決意	原田瑠美香(いわき)	共存
川島大佳(いわき)	矜持	久田喜也(いわき)	灯籠流し
木村律子(いわき)	黒の扉	細井研堂(いわき)	立ち上がれ
小松理虔(いわき)	みどり	増井俊一(いわき)	葉上の水滴
今野峯生(いわき)	もう帰れない	増井やよい(いわき)	この笑顔をいつまでも
齋藤弘美(いわき)	ヒマワリ	三重野徹(いわき)	THINK
佐久間美佐江(いわき)	ハウシャノウの涙	水庭祐子(いわき)	生きる
桜井青里(いわき)	一陽来復	緑川しのぶ(いわき)	TERASU
佐々木ほんね(いわき)	ひまわりの花言葉	嶺崎茂子(いわき)	さくらちりぬ
佐藤もと(いわき)	警告	森 二郎(いわき)	コンポジション
佐渡谷亜夫(いわき)	祈り	柳内憲治(いわき)	海人
篠原成美(いわき)	平和をいのる青年とインコの涙	山口欸一(いわき)	剋——津波を超えて
鈴木儀一(いわき)	今!!	湯浅瑞樹(いわき)	White×Black
鈴木穰蔵(いわき)	僕らは生きていく	湯田純子(いわき)	ミルキーホワイトの世界
鈴木直丈(いわき)	広原	湯田由美(いわき)	閑雲に浮かぶ
タイラクナツキ(いわき)	2011年、私。	横山千晶(いわき)	生命をかけて
田上将夫(いわき)	地球からのメッセージ	吉田晁欧(いわき)	一夜空— 2011.03.11
高木市之助(いわき)	祝	吉田きみ子(いわき)	それでも咲く!
高木武廣(いわき)	「フクシマ」を忘れるな	吉田純子(いわき)	いつか
高山文雄(いわき)	夜明け	吉田精利(いわき)	日向の笑顔
田口哲夫(いわき)	震災を生き抜くはまなす	吉田勉子(いわき)	生きる
タナカミノル(いわき)	これからどうする?	渡邊 泉(いわき)	いずこへ
丹野 孝(いわき)	笑顔でOK	渡辺 孝(いわき)	供養の渦巻

作家名	作品名	作家名	作品名
渡辺光江(いわき)	不機嫌な日々	飛田大輝(茨城県立太田第一高校)	(無題)
渡辺芳子(いわき)	復興の花火	富田真歩(茨城県立太田第一高校)	(無題)
赤間 歌(福島)	きらめき	中島 樹(茨城県立太田第一高校)	(無題)
赤間利晴(福島)	文字アート『絆』	中村菜摘(茨城県立太田第一高校)	(無題)
石山かずひこ(福島)	im・ag・ine	生田目優香(茨城県立太田第一高校)	(無題)
伊藤綾乃(福島)	いま	萩谷(茨城県立太田第一高校)	(無題)
片平 仁(福島)	2011楽園追放	藤田隆斗(茨城県立太田第一高校)	(無題)
木崎真菜(福島)	きっと	藤田春樹(茨城県立太田第一高校)	(無題)
木滑一夫(福島)	復興祈願	藤田美優(茨城県立太田第一高校)	(無題)
儀藤礼子(福島)	桂林	益子璃奈(茨城県立太田第一高校)	(無題)
佐藤 幸(福島)	Fukushimaで生きていいの?	谷田部美紀(茨城県立太田第一高校)	(無題)
杉原親市(福島)	3月11日	山内春奈(茨城県立太田第一高校)	(無題)
鈴木鈴子(福島)	月下美人	山下靖和(茨城県立太田第一高校)	(無題)
武田雄志(福島)	さかなの集会	横山いくみ(茨城県立太田第一高校)	(無題)
田中 隆(福島)	六角堂	吉岡大輝(茨城県立太田第一高校)	(無題)
長岡優子(福島)	愛そして感謝	吉原栄光(茨城県立太田第一高校)	(無題)
半田ふさ子(福島)	あさがお	和田彩夏(茨城県立太田第一高校)	(無題)
平井宏子(福島)	ぶじカエル	梅津幸三(新潟)	折加美苦悩シリーズ 活きる!!
増賀睦朗(福島)	甦れアクアマリン	大堀龍明(群馬)	みなに
武藤清子(福島)	かなしみ	黒岩美希(群馬)	sunlight
荒木美穂(福島県立本宮高校美術部)	災いの前触れ	佐藤嵩久(群馬・田中アートプログラム)	伝えたいこと
菊地 彩(福島県立本宮高校美術部)	混乱	中島千尋(群馬・田中アートプログラム)	アレ・オ
本多美香(福島県立本宮高校美術部)	故郷	藤本尚美(群馬・田中アートプログラム)	光
真島かなえ(福島県立本宮高校美術部)	がんばれ ひまわり	堀口紗穂里(群馬・田中アートプログラム)	考える脚
若竹真優(福島県立本宮高校美術部)	ご飯が食べられる幸せ	堀口紗弥(群馬・田中アートプログラム)	COLOR
八嶋孝幸(青森)	絆	幸崎菜奈(群馬・田中アートプログラム)	花言葉
佐々木碧(山形)	深海魚	矢野堅士朗(群馬・田中アートプログラム)	希望
鈴木隆史(山形)	FRIDAY	小池 悟(長野)	家においでよ
尾崎彦三郎(宮城)	ありがたい牛	滝本康子(千葉)	自然を届けたい
栗原和美(茨城)	真空地帯	田口安男(千葉)	生きている
佐藤義文(茨城)	祈り	海老原周子(東京)	創る
會澤大記(茨城県立太田第一高校)	(無題)	大橋 玄(東京)	郊外へのまなざし
石川慎太郎(茨城県立太田第一高校)	(無題)	金子裕子(東京)	稜線・朝
石崎瑠汰(茨城県立太田第一高校)	(無題)	川隅真由美(東京)	いつかとどく風
岩間健太(茨城県立太田第一高校)	(無題)	香岡 宏(東京)	よき知らせ
うめはら(茨城県立太田第一高校)	(無題)	栗田 愛(東京)	東京のこともたちより
江幡健吾(茨城県立太田第一高校)	(無題)	小林小夜子(東京)	瞑想
江幡哲郎(茨城県立太田第一高校)	(無題)	高橋健一(東京)	扉恋人紙芝居アフロ水園サンパジャックゾグ兎と象
大内雄登(茨城県立太田第一高校)	(無題)	樋口(東京)	いま
大平梨奈(茨城県立太田第一高校)	(無題)	レオナルド・キイ(東京)	神々のセレナーデ
大森菜々美(茨城県立太田第一高校)	(無題)	石井礼花(群馬・田中アートプログラム)	約束
大森結加(茨城県立太田第一高校)	(無題)	牧元礼行(横浜)	思い遣り
小澤(茨城県立太田第一高校)	(無題)	藤村景子(神奈川)	海
加賀谷麻衣(茨城県立太田第一高校)	(無題)	相澤希衣子(埼玉)	手
片岡可奈(茨城県立太田第一高校)	(無題)	鈴木将夫(埼玉)	イマギナチオ 海
川又好恵(茨城県立太田第一高校)	(無題)	成澤瑞穂(埼玉)	6つ目が迷子
木村優花(茨城県立太田第一高校)	(無題)	野本雅子(埼玉)	歩み
葛原麻衣(茨城県立太田第一高校)	(無題)	鈴木哲也(愛知)	且坐喫茶
栗山悠美(茨城県立太田第一高校)	(無題)	折笠琢磨(大阪)	自然との共生
小泉裕一郎(茨城県立太田第一高校)	(無題)	高尾保須子(大阪)	止まった時間
鯉淵誠也(茨城県立太田第一高校)	(無題)	三河内智絵(大阪)	淡々と
斎藤崇雄(茨城県立太田第一高校)	(無題)	田中修(Sam)(兵庫)	甦る舞
佐藤大輝(茨城県立太田第一高校)	(無題)	松島英樹(兵庫)	これから
沢畑寿哉(茨城県立太田第一高校)	(無題)	渋谷 清(広島)	Breathe
塩谷 凌(茨城県立太田第一高校)	(無題)	矢内 齋(佐賀)	天壤無窮
篠原未樹(茨城県立太田第一高校)	(無題)	宇田川宣人(福岡)	ハート-絆
柴田彩加(茨城県立太田第一高校)	(無題)	大山由香(福岡)	出会い
鈴木雅菜(茨城県立太田第一高校)	(無題)	加藤 恵(福岡)	穏やかな時間
田口稚菜(茨城県立太田第一高校)	(無題)	作田由美子(福岡)	フラガールパワー-いわき
田澤愛未莉(茨城県立太田第一高校)	(無題)	光行洋子(福岡)	再生
多田篤志(茨城県立太田第一高校)	(無題)	斉木駿介(福岡)	スタート
小徳喜陽(茨城県立太田第一高校)	(無題)	園川智子(大分)	光

ユーモアのすすめ 福田繁雄大回顧展

国内外で広く活躍した日本を代表するグラフィックデザイナー福田繁雄。その惜しまれる死後初の大規模回顧展として、DNP文化振興財団所蔵のポスター210点、二戸市シビックセンター福田繁雄デザイン館所蔵の立体作品109点、さらに、170点以上にのぼる最初期からのアイデアスケッチなど貴重な資料を加え、福田繁雄の全貌に迫る過去最大規模の展覧会となった。

福田の魅力のひとつである視覚トリックを生かした作品の数々は、いずれも、その不思議なユーモアに気づいた時の驚きや喜びが心地よく、年齢性別を問わず幅広く受け入れられた。

特に、スプーンとフォークのみで組み上げられた《ランチはヘルメットをかぶって》の影がオートバイに見えるトリックや見る角度

によってヴァイオリニストからピアニストに変わって見える《アンコール》などの立体作品には、あちこちで感嘆の声が聞かれた。さらには、ホテルのメモやナプキン、レシートの裏などに書き遺した多数のスケッチ類が初公開され、熱心なファンをも喜ばせた。

また、会期中には、福田繁雄の教え子としてその仕事や人柄を良く知るアーティストの日比野克彦氏と一緒に会場をまわって福田作品の楽しみ方を体感したり、福田繁雄のデザイン世界の理解を深めながら、オリジナルのポスターづくりにチャレンジするワークショップを開催。

東日本大震災後のさまざまな不安や喪失感を、福田的ユーモアの力で何とか吹き飛ばしたいと願った展覧会でもあった。

- 会 期 2011年11月12日(土)~12月18日(日)
会 場 いわき市立美術館 企画展示室Ⅰ、Ⅱ 1、2階ロビー
主 催 いわき市立美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会、福島民友新聞社、福島中央テレビ
協 力 二戸市シビックセンター福田繁雄デザイン館、DNP文化振興財団
企画協力 DNPアートコミュニケーションズ
協 賛 ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン



出品リスト 1

番号	作品名	制作年	寸法(cm)	技法
1	第27回選抜高校野球大会実況放送	1954	72×51	オフセット
2	こどもの日に	1955	72.8×51.5	シルクスクリーン
3	サンケイ新聞	1955	103×72.8	シルクスクリーン
4	全館完成 記念大出し	1953	37.6×51.8	オフセット
5	銀座モード ショール マフラー 手袋大会	1953-56頃	36.6×51.6	オフセット
6	秋の優秀紳士服イメージオーダーの会	1953-56頃	36×51.8	オフセット
7	松屋名物 百傘会	1953-56頃	36×51.8	オフセット
8	長谷川毛織 秋の紳士服地 新柄発表会	1953-56頃	38×52.6	オフセット
9	旅に ぼけっと缶	1957	102.3×72.1	シルクスクリーン
10	お中元に新しい装いの味の素を	1956-58頃	36.3×51.5	オフセット
11	ご贈答に AJI-NO-MOTO	1956-58頃	33.5×51.2	オフセット
12	優良国産 一眼レフカメラの会	1962	35.8×51.3	シルクスクリーン
13	日英商品交流 英国展	1962	36.7×51.8	オフセット
14	脳の栄養剤グルミタン錠剤	1950年代後半	38×51.6	オフセット
15	脳の栄養剤グルミタン錠剤	1950年代後半	37.4×52.2	オフセット
16	第14回日本童画会展 子供のための造型文化展	1960年代	51×36	オフセット
17	TOKYO	1965	99.8×63	オフセット
18	第15回日宣美展	1965	101.8×72.3	シルクスクリーン
19	ニチレキッド こども服	1965	103×73.2	オフセット
20	新しい時代の原糸を伸ばす	1965	103×72.8	シルクスクリーン
21	新しい時代の原糸を伸ばす	1965	103×72.8	シルクスクリーン
22	見て口をとぎす日本人	1965	103×72.8	シルクスクリーン
23	はなのような国	1965	103×72.8	シルクスクリーン
24	右に頼る人間	1967	103×72.8	シルクスクリーン
25	日本万国博 (公式1号)	1967	103×72.8	シルクスクリーン
26	日本万国博 (公式2号)	1967	103×72.8	オフセット
27	EXPO '70	1967	103×72.8	シルクスクリーン
28	EXPO '70	1967	102.3×71	シルクスクリーン
29	EXPO '70	1967	103×72.8	シルクスクリーン
30	EXPO '70	1967	102.3×71	シルクスクリーン
31	The Work of Shigeo Fukuda MAN	1968	103×72.8	シルクスクリーン
32	The Work of Shigeo Fukuda MAN	1968	103×72.8	シルクスクリーン
33	NO MORE	1968	103×72.8	シルクスクリーン
34	ウインドウ・ファイブ展	1969	103×72.8	シルクスクリーン
35	カゴメケチャップ	1970	103×72.8	オフセット
36	カゴメケチャップ	1970	72.8×103	オフセット
37	眼 = THINK AND CREATE 展	1970	103×72.8	オフセット
38	中村誠+福田繁雄「モナリザ100微笑展」	1970	103×72.8	シルクスクリーン
39	THE WORLD OF SHIGEO FUKUDA IN U.S.A.	1971	103×72.8	シルクスクリーン
40	THE WORLD OF SHIGEO FUKUDA IN U.S.A.	1971	103×72.8	シルクスクリーン
41	THE WORLD OF SHIGEO FUKUDA IN U.S.A.	1971	103×72.8	シルクスクリーン
42	THE WORLD OF SHIGEO FUKUDA IN U.S.A.	1971	91.3×60.8	シルクスクリーン
43	THE WORLD OF SHIGEO FUKUDA IN U.S.A.	1971	103×72.8	シルクスクリーン
44	THE WORLD OF SHIGEO FUKUDA IN U.S.A.	1971	103×72.8	シルクスクリーン
45	THE WORLD OF SHIGEO FUKUDA IN U.S.A.	1971	103×72.8	シルクスクリーン
46	THE WORLD OF SHIGEO FUKUDA IN U.S.A.	1971	103×72.8	シルクスクリーン
47	THE WORLD OF SHIGEO FUKUDA IN U.S.A.	1971	103×72.8	シルクスクリーン
48	THE WORLD OF SHIGEO FUKUDA IN U.S.A.	1971	103×72.8	シルクスクリーン
49	Japon-Joconde	1971	64×48	オフセット

番号	作品名	制作年	寸法(cm)	技法
50	Japon-Joconde	1971	64×48	オフセット
51	グローバル・アイ '72 東欧7ヵ国展	1972	103×72.8	シルクスクリーン
52	フレンチ・ホルン	1972	103×72.8	オフセット
53	デザインフォーラム '73 展	1973	103×72.8	オフセット
54	Environmental Pollution	1973	103×72.8	オフセット
55	Environmental Pollution	1973	103×72.8	オフセット
56	Environmental Pollution	1973	103×72.8	オフセット
57	Environmental Pollution	1973	103×72.8	オフセット
58	Environmental Pollution	1973	103×72.8	オフセット
59	Environmental Pollution	1973	102.5×71.7	オフセット
60	第25回全国植樹祭	1974	103×72.8	オフセット
61	SHIGEO FUKUDA : Projects for Monuments	1974	103×72.8	オフセット
62	SHIGEO FUKUDA : Projects for Monuments	1974	103×72.8	オフセット
63	SHIGEO FUKUDA : Projects for Monuments	1974	103×72.8	オフセット
64	SHIGEO FUKUDA : Projects for Monuments	1974	103×72.8	オフセット
65	SHIGEO FUKUDA : Projects for Monuments	1974	103×72.8	シルクスクリーン
66	第1回東京国際具象絵画ビエンナーレ展	1974	103×72.8	オフセット
67	福田繁雄グラフィックアーツ ワルシャワ 1974	1974	103×72.8	オフセット
68	福田繁雄グラフィックアーツ チューリッヒ 1974	1974	103×72.8	オフセット
69	A CUP OF WATER	1974	101.6×71.3	オフセット
70	Self-Defense	1974	103×72.8	シルクスクリーン
71	Self-Defense	1974	103×72.8	シルクスクリーン
72	Self-Defense	1974	103×72.8	シルクスクリーン
73	Self-Defense	1974	103×72.8	シルクスクリーン
74	Self-Defense	1974	103×72.8	シルクスクリーン
75	Self-Defense	1974	103×72.8	シルクスクリーン
76	Self-Defense	1974	103×72.8	シルクスクリーン
77	第9回東京国際版画ビエンナーレ展	1974	103×72.8	オフセット
78	SHIGEO FUKUDA 展	1975	103×72.8	シルクスクリーン
79	SHIGEO FUKUDA 展	1975	103×72.8	シルクスクリーン
80	VICTORY 1945	1975	97×67	オフセット
81	FRIENDSHIP	1975	72.8×103	シルクスクリーン
82	FRIENDSHIP	1975	72.8×103	シルクスクリーン
83	FRIENDSHIP	1975	72.8×103	シルクスクリーン
84	FRIENDSHIP	1975	72.8×103	シルクスクリーン
85	FRIENDSHIP	1975	72.8×103	シルクスクリーン
86	FRIENDSHIP	1975	72.8×103	シルクスクリーン
87	FRIENDSHIP	1975	72.8×103	シルクスクリーン
88	FRIENDSHIP	1975	72.8×103	シルクスクリーン
89	FRIENDSHIP	1975	72.8×103	シルクスクリーン
90	FRIENDSHIP	1975	72.8×103	シルクスクリーン
91	現代ポスターの展望	1976	103×72.8	オフセット
92	VICTORY	1976	103×72.8	シルクスクリーン
93	VICTORY	1976	103×72.8	シルクスクリーン
94	SHIGEO FUKUDA IN ASPEN	1976	103×72.8	シルクスクリーン
95	SHIGEO FUKUDA	1976	103×72.8	オフセット
96	Mt.FUJI	1976	103×72.8	シルクスクリーン
97	Mt.FUJI	1976	103×72.8	シルクスクリーン
98	DECADE FOR ACTION	1977	59.1×41.9	シルクスクリーン
99	DECADE FOR ACTION	1977	59.1×41.9	シルクスクリーン
100	福田繁雄新作ポスター展	1980	103×72.8	シルクスクリーン

番号	作品名	制作年	寸法(cm)	技法
101	狂言	1981	103×72.8	オフセット
102	フィガロの結婚	1981	103×72.8	シルクスクリーン
103	福田繁雄のポスター展	1982	103×72.8	シルクスクリーン
104	世界のポスター 10 人展	1982	103×72.8	オフセット
105	国際交流基金映画祭	1982	103×72.8	オフセット
106	HAPPY EARTHDAY	1982	103×72.8	オフセット
107	HAPPY EARTHDAY*	(1982)	103×72.8	オフセット
108	浅草オペラの夕	1983	103×72.8	オフセット
109	伝統と現代技術— 日本のグラフィックデザイナー 12 人展	1984	103×72.8	オフセット
110	伝統と現代技術— 日本のグラフィックデザイナー 12 人展	1984	103×72.8	オフセット
111	UCC コーヒー館 (つくば科学博 '85)	1984	103×72.8	オフセット
112	SHIGEO FUKUDA IMAGES OF ILLUSION 1984	1984	103×72.8	シルクスクリーン
113	SHIGEO FUKUDA IMAGES OF ILLUSION 1984	1984	103×72.8	シルクスクリーン
114	SHIGEO FUKUDA IMAGES OF ILLUSION 1984	1984	103×72.8	シルクスクリーン
115	SHIGEO FUKUDA IMAGES OF ILLUSION 1984	1984	103×72.8	シルクスクリーン
116	SHIGEO FUKUDA IMAGES OF ILLUSION 1984	1984	103×72.8	シルクスクリーン
117	SHIGEO FUKUDA IMAGES OF ILLUSION 1984	1984	103×72.8	シルクスクリーン
118	SHIGEO FUKUDA IMAGES OF ILLUSION 1984	1984	104.4×72.8	オフセット
119	ヒロシマ・アピールズ	1985	103×72.8	オフセット
120	第 3 回浅草オペラの夕	1985	103×72.8	オフセット
121	第 19 回モントルー・ジャズ・フェスティバル*	(1985)	100×70	シルクスクリーン
122	三菱ダイレクト製版第 11 回印刷コンテスト	1985	103×72.8	オフセット
123	LOOK1-15 人のアーティスト展	1985	103×72.8	シルクスクリーン
124	下町で第九	1985	72.8×51.5	オフセット
125	下町で第九	1987	72.8×51.5	オフセット
126	下町で第九	1990	72.8×51.5	オフセット
127	下町で第九	1998	72.8×51.5	オフセット
128	下町で第九	2008	72.8×51.5	オフセット
129	第 1 回国民文化祭総合フェスティバル	1986	103×72.8	オフセット
130	福田繁雄展	1986	103×72.8	オフセット
131	福田繁雄展	1986	103×72.8	オフセット
132	ポール・ランド：A デザイナーズ・アート	1986	103×72.8	オフセット
133	FFIINNAALL SSHHEELLTTEERR!! Final Shelter !	1986	103×72.8	シルクスクリーン
134	Think Japan	1987	103×72.8	オフセット
135	Think Japan	1987	103×72.8	オフセット
136	Think Japan	1987	103×72.8	オフセット
137	FACE：シェイクスピア	1987	103×72.8	オフセット
138	FACE：リンカーン	1987	103×72.8	オフセット
139	FACE：チャップリン	1987	103×72.8	オフセット
140	FACE：アインシュタイン	1987	103×72.8	オフセット
141	FACE：ピカソ	1987	103×72.8	オフセット
142	FACE：ナポレオン	1987	103×72.8	オフセット
143	FACE：芥川龍之介	1987	103×72.8	オフセット
144	FACE：孔子	1987	103×72.8	オフセット
145	FACE：バッハ	1987	103×72.8	オフセット
146	FACE：マリリン・モンロー	1987	103×72.8	オフセット
147	FACE：マイケル・ジャクソン	1987	103×72.8	オフセット
148	FACE：ダ・ビンチ	1987	103×72.8	オフセット
149	モリサワ	1988	103×72.8	オフセット

番号	作品名	制作年	寸法(cm)	技法
150	福田繁雄の遊気百倍博	1988	103×72.8	シルクスクリーン
151	福田繁雄の遊気百倍博	1988	103×72.8	シルクスクリーン
152	福田繁雄の遊気百倍博	1988	103×72.8	シルクスクリーン
153	福田繁雄ポスタースクール・イン・トヤマ	1988	103×72.8	シルクスクリーン
154	JAPON-JOCONDE 1989 makoto NAKAMURA+shigeo FUKUDA	1989	103×72.8	オフセット
155	JAPON-JOCONDE 1989 makoto NAKAMURA+shigeo FUKUDA	1989	103×72.8	オフセット
156	ザ・トリック展	1989	103×72.8	シルクスクリーン
157	ザ・トリック展	1989	103×72.8	シルクスクリーン
158	LES DROITS DEL'HOMME… (ARTIS'89)	1989	84×59.3	オフセット
159	WATER IS LIFE,LIFE ON EARTH	1989	103×72.8	シルクスクリーン
160	グラフィックデザインの今日展	1990	103×72.8	オフセット
161	福田繁雄展	1990	103×72.8	シルクスクリーン
162	SHIGEO FUKUDA ILLUSTRICK 1990	1990	103×72.8	オフセット
163	OBSERVATOIRE INTERNAL DES PRISONS	1990	103×72.8	オフセット
164	福田繁雄展 FUKUDA C'ESTFOU	1991	103×72.8	オフセット
165	ecology 絵心知の軌跡 福田繁雄展	1992	103×72.8	オフセット
166	RIO92 第2回国際連合環境開発会議	1992	103×72.8	オフセット
167	第2回紙わざ大賞	1992	103×72.8	シルクスクリーン
168	福田繁雄 遊気のトリック館 第1回ジャパンエキスポ富山'92	1992	103×72.8	シルクスクリーン
169	福田繁雄 遊気のトリック館 第1回ジャパンエキスポ富山'92	1992	103×72.8	シルクスクリーン
170	JAGDA 平和と環境のポスター展 「I'm here」	1993	103×72.8	シルクスクリーン
171	日本のポスター 100 展	1993	103×72.8	オフセット
172	モリサワ	1993	103×72.8	オフセット
173	SOS AIDS	1993	103×72.8	シルクスクリーン
174	日本のポスター展	1993	100×70	シルクスクリーン
175	遊悠 YOU 福田繁雄の立体造形展	1993	103×218.4(3枚組)	オフセット
176	写楽生誕 200 周年記念	1994	103×72.8	シルクスクリーン
177	福田繁雄ポスター展	1994	103×72.8	オフセット
178	福田繁雄のプリズム展	1994	103×72.8	シルクスクリーン
179	福田繁雄のプリズム展	1994	103×72.8	シルクスクリーン
180	HIROSHIMA APPEALS PEACE	1994	103×72.8	シルクスクリーン
181	HIROSHIMA APPEALS PEACE	1994	103×72.8	シルクスクリーン
182	IS THERE LIFE ON EARTH	1994	103×72.8	シルクスクリーン
183	IS THERE LIFE ON EARTH	1994	103×72.8	シルクスクリーン
184	IS THERE LIFE ON EARTH	1994	103×72.8	シルクスクリーン
185	IS THERE LIFE ON EARTH	1994	103×72.8	シルクスクリーン
186	HIROSHIMA-NAGASAKI 50	1995	103×72.8	シルクスクリーン
187	遊迷アート・福田繁雄展	1995	103×145.6(2枚組)	オフセット
188	SHIGEO FUKUDA-150 PLAKATOW	1995	103×72.8	シルクスクリーン
189	SHIGEO FUKUDA-150 PLAKATOW	1995	103×72.8	シルクスクリーン
190	世界自然保護基金 WWF	1997	103×72.8	シルクスクリーン
191	世界自然保護基金 WWF	1997	103×72.8	シルクスクリーン
192	世界遺産 WORLD HERITAGE	1997	103×72.8	オフセット
193	世界遺産 WORLD HERITAGE	1997	103×72.8	オフセット
194	福田繁雄のイラスト・ミレニウム	1999	103×72.8	オフセット
195	福田繁雄の青春グラフィティ	2000	103×72.8	オフセット
196	福田繁雄のブックデザイン	2001	103×72.8	オフセット
197	福田繁雄の西欧浪漫	2006	103×72.8	オフセット
198	福田繁雄の白と黒	2006	103×72.8	オフセット

番号	作品名	制作年	寸法(cm)	技法
199	福田繁雄のデザイン三原色	2006	103×72.8	オフセット
200	世界グラフィックデザイン会議・名古屋	2003	103×72.8	オフセット
201	世界グラフィックデザイン会議・名古屋	2003	103×72.8	オフセット
202	福田繁雄展トリックアート面白世界	2005	103×72.8	オフセット
203	福田繁雄展イラストレーション	2005	103×72.8	オフセット
204	FUKUDA ポスター大賞 2005	2005	103×72.8	オフセット
205	FUKUDA ポスター大賞 2007	2007	103×72.8	オフセット
206	SHIGEO FUKUDA POSTER 2006	2006	72.8×103	オフセット
207	Shigeo Fukuda	2006	103×72.8	オフセット
208	AGI 日本デザイン総会記念掛け軸展 イラストレーション:福田繁雄 デザイン:青葉益輝	2006	103×72.8	オフセット
209	福田繁雄展ハードルは kugu れ タイムトンネルシリーズ Vol.27	2008	103×72.8	オフセット
210	福田繁雄展ハードルは kugu れ タイムトンネルシリーズ Vol.27	2008	103×72.8	オフセット
211	バード・ツリー	1965	28×22×10	木工
212	レインボー・ツリー	1965	28×22×10	木工
213	顔	1965	20×20×3	木工
214	卵の中の6羽の鳥	1966	2.5×16×20	木工
215	フィッシングボート	1967	14×50×5	木工
216	競馬	1967	14.5×18×13	木工
217	クジャク	1967	15×15×1.5	木工
218	都会の木	1969	28×22×10	木工
219	キャンディ・ツリー	1969	28×22×10	木工
220	スイカ	1971	20×40×5	木工
221	ホーム	1976	24×20.5×2.5	木工
222	追想	1973	200×60.5×70.5	FRP 硬化プラスチック
223	男と女	1974	210×67×67	FRP 硬化プラスチック
224	男という字のかたち	1974	80×80×60	木工
225	女という字のかたち	1974	80×80×50	木工
226	アンコール	1975	37×50×50	木工
227	ラブストーリー*	(1973)	54×31×25.5	木工
228	HORSE & ESROH*	(1974)	36×50×50	木工
229	木星探査バイオニア 10号からの返信*	(1975)	54×17.5×39	木工
230	SAMPLE*	(1977)	46×12.2×40	木工
231	GOOD MORNING*	(1978)	37×32×30	木工
232	ラオコーンの中のモナリザ	1982	87×87×85	FRP 硬化プラスチック
233	広がる音の世界	1982	60×180×380 (犬:74×30×70)	木工
234	セザンヌの静物画の中のゴッホの世界	1984	73×40×91	FRP 硬化プラスチック
235	アンダーグランドピアノ*	(1984)	115×134×134	木工、金属、アクリル
236	凸面鏡に映ったミロのヴィナス	1984	63×35×150	FRP 硬化プラスチック
237	円柱鏡に映ったミロのヴィナス	1984	150×35×35	FRP 硬化プラスチック
238	フクダのヴィナス	1984	61×30×25	FRP 硬化プラスチック
239	リンカーンのヴィナス	1984	61×30×25	FRP 硬化プラスチック
240	聖徳太子のヴィナス	1984	61×30×25	FRP 硬化プラスチック
241	雪舟のヴィナス	1984	61×30×25	FRP 硬化プラスチック
242	アインシュタインのヴィナス	1984	61×30×25	FRP 硬化プラスチック
243	ベートーベンのヴィナス	1984	61×30×25	FRP 硬化プラスチック
244	モナリザのヴィナス	1984	61×30×25	FRP 硬化プラスチック
245	リズ・テイラーのヴィナス	1984	61×30×25	FRP 硬化プラスチック
246	国芳のヴィナス	1984	61×30×25	FRP 硬化プラスチック

番号	作品名	制作年	寸法(cm)	技法
247	フローラのヴィナス	1984	61×30×25	FRP 硬化プラスチック
248	消えた柱	1984	85×95×70	木工
249	フクダの階段	1985	85×170×105	木工、金属
250	落ち続ける滝〈三次元のエッシャー No.2〉	1985	118×97.5×70	木工、金属
251	ベチャンカー 1号車	1986	130×125×185	木工、FRP 硬化プラスチック
252	ベチャンカー 2号車	1986	130×72×370	木工、FRP 硬化プラスチック
253	マルセル・プロイヤーの椅子ですか	1984	82.5×15×65	金属板
254	マッキントッシュの椅子ですか	1986	140×120×40	木工
255	サーリネンの椅子ですか	1989	85×72×16	FRP 硬化プラスチック
256	電気澁刺シリーズ2 綱	1986	355×90×90	木、麻
257	電気澁刺シリーズ4 バケツ	1986	52×90×90	木、金属
258	電気澁刺シリーズ7 輪	1986	350×90×90	木、金属
259	電気澁刺シリーズ9 ノコギリ	1986	90×90×90	木、金属
260	ランチはヘルメットをかぶって…	1987	108×186×70	ステンレス
261	ストライク	1987	180×112×92	FRP 硬化プラスチック
262	ノータイム	1987	165×97×162	FRP 硬化プラスチック
263	フォーバット	1987	150×100×92	FRP 硬化プラスチック
264	まったなし	1987	127×140×120	FRP 硬化プラスチック
265	デコブル	1987	115×60×105	FRP 硬化プラスチック
266	ポコブル	1987	30×95×40	FRP 硬化プラスチック
267	速く走りたいと願った牛		202×55×240	FRP 硬化プラスチック
268	希望を持たなくなったキリン		202×55×240	FRP 硬化プラスチック
269	Time 時 川崎市市民ミュージアムのプロジェクトの縮小模型	1988	79×48×52	FRP 硬化プラスチック
270	切手のモノリザ	1989	145×95	パネル、切手
271	切手のモノリザ	1988	120×84.5	パネル、切手
272	環境汚染 楯田のレコード	1973	40×20	金属
273	環境汚染 3枚歯のハサミ	1973	28×11	プラスチック
274	環境汚染 3枚歯のフォーク	1973	30×5	プラスチック
275	環境汚染 使えないコーヒーカップ	1973	カップ：8×φ9、 ソーサー：2×φ17	木
276	環境汚染 二股のねじ	1973	24.5×10.5	木
277	モノリザの角皿	1973	各1.5×15×15	陶器 6枚組
278	最後の晚餐用の皿	1975	各2×27×27	陶器 24枚組
279	使えない食器 (ダブルポット)	1981	11.5×32.5×12	陶器
280	使えない食器 (タコ足持ち手ポット)	1981	11.5×φ21.5	陶器
281	使えない食器 (7つ注ぎ口のあるポット)	1981	11.5×21.5×20.5	陶器
282	使えない食器 (ダブルカップ)	1981	カップ：6.3×20×8.2、 ソーサー：2.5×20.5×15	陶器
283	使えない食器 (トリプルカップ)	1981	6.3×φ17	陶器
284	使えない食器 (ダブルカップ・縦)	1981	12.6×φ8.5	陶器
285	使えない食器 (皿に沈んだカップ)	1981	5×φ15	陶器
286	使えない食器 (内部が凸型のカップ)	1981	カップ：6.3×φ8.5、 ソーサー：2.5×φ15	陶器
287	使えない食器 (内分割カップ・縦)	1981	カップ：6.3×φ8.5、 ソーサー：2.5×φ15	陶器
288	使えない食器 (内分割カップ・横)	1981	カップ：6.3×φ8.5、 ソーサー：2.5×φ15	陶器
289	使えない食器 (3段持ち手カップ)	1981	カップ：9.0×φ8.5、 ソーサー：2.5×φ15	陶器
290	使えない食器 (内持ち手カップ)	1981	カップ：6.3×φ8.5、 ソーサー：2.5×φ15	陶器

番号	作品名	制作年	寸法(cm)	技法
291	使えない食器 (タコ足持ち手カップ)	1981	カップ：6.3×φ8.5、 ソーサー：2.5×φ15	陶器
292	使えない食器 (持ち手合体カップ)	1981	カップ：6.3×φ8.5、 ソーサー：2.5×φ15	陶器
293	使えない食器 (持ち手てんこ盛りカップ)	1981	カップ：13×φ8.5、 ソーサー：2.5×φ15	陶器
294	カップ&ソーサー 矢印	1973	カップ：5.5×φ8.5、 ソーサー：2×φ15	陶器
295	カップ&ソーサー キュービズムのパレット	1973	カップ：7.2×φ7.5、 ソーサー：2×φ15	陶器
296	カップ&ソーサー ローズセラヴィ	1973	カップ：7.7×φ8.4、 ソーサー：1.7×φ15.5	陶器
297	カップ&ソーサー コーヒータンク*	(1973)	カップ：7.3×φ8.5、 ソーサー：2×φ15.7	陶器
298	カップ&ソーサー カップの中のコンサート	1973	カップ：7×φ8.6、 ソーサー：2×φ15	陶器
299	カップ&ソーサー カップの世界	1973	カップ：5.2×φ6.2、 ソーサー：2×φ12.5	陶器
300	クライン氏の散歩	1973	7×φ8.8	陶器
301	コンビーフ	1973	7.4×φ8.5	陶器
302	カップ&ソーサー 松屋デザイン	1991	カップ：6×φ8.8、 ソーサー：1.5×φ15.7	陶器
303	カップ&ソーサー 松屋デザイン	1991	カップ：7×φ9.2、 ソーサー：2.5×φ15.8	陶器
304	カップ&ソーサー 松屋デザイン	1991	カップ：7×φ9.2、 ソーサー：2.5×φ15.8	陶器
305	カップ&ソーサー 東北新幹線二戸駅開通記念	2002	カップ：6.8×φ7.5、 ソーサー：2.3×φ14.2	陶器
306	カップ&ソーサー チャリティー企画 290人のクリエイターによるオリジナルカップ& ソーサー展 お茶にしませんか (クリエイションギ ャラリー G8) のためのデザイン	2007	カップ：5.5×φ8.2、 ソーサー：1.5×φ15.5	陶器
307	マグカップ4種			陶器
308	スプーンです/フォークです (F:左曲がり)	1986	23×3.3	ステンレス
309	スプーンです/フォークです (F:ぐるり)	1986	20×2.5	ステンレス
310	スプーンです/フォークです (F:右長)	1986	20×2.5	ステンレス
311	スプーンです/フォークです (F+S)	1986	18×8.5	ステンレス
312	スプーンです/フォークです (N:段付き)	1986	21.5×3	ステンレス
313	スプーンです/フォークです (S:平)	1986	21×4.3	ステンレス
314	スプーンです/フォークです (S:逆凸)	1986	21.5×3	ステンレス
315	スプーンです/フォークです (S:逆向き)	1986	21.3×5.2	ステンレス
316	スプーンです/フォークです (S:二段)	1986	26×4.1	ステンレス
317	スプーンです/フォークです (S:グニャグニャ)	1986	12.7×2.7	ステンレス
318	スプーンです/フォークです (N:波型)	1986	16.5×2.3	ステンレス
319	スプーンです/フォークです (S:知恵の輪)	1986	各12×3.8	ステンレス

※ *は、後年の再制作であり、()内にオリジナルの制作年を記した。

出品リスト2

番号	作品名	技法	寸法(cm)
S-1	初期作品 水彩 (風景)	紙、水彩	21.0×15
S-2	初期作品 水彩 (卓上静物)	紙、水彩	15.1×25
S-3	味の素 (版下・スプーン/フォーク/ナイフ)	紙、鉛筆・ペン	25.2×27
S-4	味の素 (版下・人物とお椀)	紙、鉛筆・ペン	23.5×26
S-5	味の素 (春のお料理について)	紙、鉛筆・ペン	22.9×26

番号	作品名	技法	寸法(cm)
S-6	味の素 (アイデアスケッチ・種をあかせば)	紙、鉛筆	25.6×18
S-7	味の素 (アイデアスケッチ・ほっぺた)	紙、ペン	22.3×15
S-8	森永キャラメル	紙、鉛筆・ペン	22.3×15
S-9	不二家ミルク	紙、鉛筆・パステ	27.2×19
S-10	メルチオニン B12 錠	紙、ペン・パステル	24.7×13
S-11	サロメチール	紙、ペン・水彩	19.231.6
S-12	昭和製菓	紙、ペン・パステル	13.510.7
S-13	昭和製菓アイデアスケッチ	紙、鉛筆	19.027.2
S-14	メモ書き (ポスター公募情報か?)	紙、鉛筆	18.412.6
S-15	小鳥の週間 (小鳥)	紙、鉛筆・パステル	16.511.6
S-16	小鳥の週間 (少女)	紙、鉛筆	18.2×12
S-17	緑の週間 (太陽と木々1)	紙、パステル	16.6×11
S-18	緑の週間 (太陽と木々2)	紙、パステル	16.6×11
S-19	緑の週間 (女性)	紙、パステル	18.4×12
S-20	スケッチブック	紙、鉛筆・パステ	14.5×21
S-21	学生時代のノートスケッチ1 (4/23)	紙、鉛筆	11.5×14
S-22	学生時代のノートスケッチ2 (6/2)	紙、鉛筆	18.2×12
S-23	環境汚染 6つ又のフォーク	紙、鉛筆	18.7×26
S-24	環境汚染 3つ足のはさみ	紙、鉛筆	26.1×18
S-25	環境汚染 2又の傘	紙、鉛筆	26.1×18
S-26	環境汚染 3つ口のポット	紙、鉛筆	26.1×18
S-27	環境汚染 2つ合わせたレコード	紙、鉛筆・ペン	26.1×18
S-28	環境汚染 歯が3つに分かれた包丁	紙、鉛筆	26.1×18
S-29	環境汚染 上下合わせた自転車	紙、鉛筆	18.7×26
S-30	環境汚染 脚が3方向についた椅子	紙、鉛筆	26.1×18
S-31	環境汚染 二股の鉛筆	紙、鉛筆	26.1×18
S-32	環境汚染 届かない安全ピン	紙、鉛筆	26.2×20
S-33	環境汚染 かかとがくっついた1足の靴	紙、鉛筆	26.1×18
S-34	環境汚染 裂けたレコード	紙、鉛筆	26.1×18
S-35	環境汚染 二又の缶詰	紙、鉛筆	26.1×18
S-36	環境汚染 3つ目の眼鏡	紙、鉛筆	18.7×26
S-37	環境汚染 仕切りのあるグラス	紙、鉛筆	26.1×18
S-38	環境汚染 3つ足のズボン	紙、鉛筆	26.1×18
S-39	万国博1	紙、ペン	26.5×18
S-40	万国博2	紙、ペン	26.5×18
S-41	万国博3	紙、ペン	26.5×18
S-42	万国博4	紙、ペン	26.5×18
S-43	万国博5	紙、ペン	11.5×7.2
S-44	万国博6	紙、鉛筆・パステル	10.5×17
S-45	万国博7	紙、ペン・パステル	10.5×17
S-46	万国博8	紙、ペン	10.5×17
S-47	万国博9	紙、ペン	10.5×17
S-48	万国博10	紙、ペン・パステル	10.5×17
S-49	万国博11	紙、ペン	10.5×17
S-50	万国博12	紙、鉛筆・ペン	10.5×17
S-51	万国博13	紙、ペン・パステル	10.5×17
S-52	万国博14	紙、鉛筆・パステル	10.5×17
S-53	万国博15	紙、ペン	15.6×22

番号	作品名	技法	寸法(cm)
S-54	万国博 16	紙、鉛筆・ペン	15.6×22
S-55	万国博 17	紙、ペン	15.6×22
S-56	万国博 18	紙、ペン	17.8×25
S-57	万国博 19	紙、ペン	15.6×22
S-58	万国博 20	紙、ペン	15.6×22
S-59	万国博 21	紙、ペン	22.1×15
S-60	万国博 22	紙、ペン	15.6×22
S-61	万国博 23	紙、ペン	25.7×14
S-62	万国博 24	紙、ペン	26.6×18
S-63	万国博 25	紙、ペン	26.6×18
S-64	万国博 26	紙、ペン	26.6×18
S-65	万国博 27	紙、ペン	26.5×18
S-66	万国博 28	紙、ペン	26.6×18
S-67	万国博 29	紙、ペン	26.5×28
S-68	万国博 30	紙、ペン	29.3×20
S-69	フランス革命 1	紙、鉛筆	28.5×21
S-70	フランス革命 2	紙、鉛筆	28.5×21
S-71	フランス革命 3	紙、鉛筆	37.4×26
S-72	フランス革命 4	紙、鉛筆	37.4×26
S-73	フランス革命 5	紙、鉛筆・パステル	37.4×26
S-74	フランス革命 6	紙、ペン	36.3×25
S-75	立体 アンダーグランドピアノ	コピー	29.6×42
S-76	立体 セザンヌとゴッホ、階段	紙、鉛筆	25.6×36
S-77	立体 影でつくる立体のアイデア	紙、ペン	26.8×38
S-78	立体 影でつくる立体のアイデア (魚)	紙・ペン	26.8×38
S-79	立体 影でつくる立体のアイデア (自転車)	紙・鉛筆	25.7×36
S-80	立体 電気洗刺	紙、鉛筆	25.7×36
S-81	立体 デコブルボコブル	紙、鉛筆・ペン	25.7×36
S-82	立体 フォーバット、ストライク	紙、鉛筆	25.7×36
S-83	立体 ベチャンカー 1号車、2号車	紙、鉛筆	26.437.6
S-84	珍世界漫遊記第4回 (クモノクニノマキ)	紙、鉛筆	15.6×5.0
S-85	珍世界漫遊記第5回 (クモノクニノマキ)	紙、鉛筆	15.6×5.0
S-86	珍世界漫遊記第6回 (クモノクニノマキ)	紙、鉛筆	15.6×5.0
S-87	珍世界漫遊記第7回 (ロッペン島ノマキ)	紙、鉛筆	15.6×5.0
S-88	珍世界漫遊記第8回 (ロッペン島ノマキ)	紙、鉛筆	15.6×5.0
S-89	珍世界漫遊記第9回 (ロッペン島ノマキ)	紙、鉛筆	15.6×5.0
S-90	珍世界漫遊記第10回 (ロッペン島ノマキ)	紙、鉛筆	15.6×5.0

出品リスト 3

作品名	材質	所蔵	寸法
最後のスケッチ 1 自然と都市と人間 / ルビンの東京	紙、鉛筆	ANA CROWNE PLAZA TOYAMA	13.7 × 10.cm
最後のスケッチ 2 TOKYO	紙、鉛筆	ANA CROWNE PLAZA TOYAMA	13.7 × 10.cm
最後のスケッチ 3 EVREUX 13 : 00 BERNAY 13 : 20 LISIEUX 13 : 45	紙、鉛筆	ANA CROWNE PLAZA TOYAMA	13.7 × 10.cm
最後のスケッチ 4 Paris POSTER の IDEA	紙、鉛筆	ANA CROWNE PLAZA TOYAMA	13.7 × 10.cm
最後のスケッチ 5 10/22 3 : 20PM	紙、鉛筆	ANA CROWNE PLAZA TOYAMA	13.7 × 10.cm
最後のスケッチ 6	紙、鉛筆	ANA CROWNE PLAZA TOYAMA	13.7 × 10.cm

作品名	材質	所蔵	寸法
最後のスケッチ 7	紙、鉛筆	ANA CROWNE PLAZA TOYAMA	13.7 × 10cm
最後のスケッチ 8	紙、鉛筆	ANA CROWNE PLAZA TOYAMA	13.7 × 10cm
2008.10.22 NARITA TOKYO 都市と人 花火			
最後のスケッチ 9	紙、鉛筆	ANA CROWNE PLAZA TOYAMA	13.7 × 10cm
最後のスケッチ 10	紙、鉛筆	ANA CROWNE PLAZA TOYAMA	13.7 × 10cm
最後のスケッチ 11	紙、鉛筆	ANA CROWNE PLAZA TOYAMA	13.7 × 10cm
最後のスケッチ 12	紙、鉛筆	ANA CROWNE PLAZA TOYAMA	13.7 × 10cm
TOKYO			
最後のスケッチ 13	紙、鉛筆	ANA CROWNE PLAZA TOYAMA	13.7 × 10cm
2011/10/24			
最後のスケッチ 14	紙、鉛筆	ANA CROWNE PLAZA TOYAMA	13.7 × 10cm
光、放射線、輝東京、未来、希望、夢、 都市、世界			6.7 × 11.6cm
最後のスケッチ 15	紙、鉛筆		7.8 × 16.0cm
最後のスケッチ 16	紙、鉛筆	ナショナル証券	14.7 × 10cm
最後のスケッチ 17	紙、ペン		18.1 × 7.0cm
最後のスケッチ 18	紙、鉛筆		7.8 × 6.6cm
最後のスケッチ 19	紙、鉛筆	ANA HOTEL TOYAMA	14.7 × 10cm
2011/10/26			
最後のスケッチ 20	紙、鉛筆	ANA HOTEL TOYAMA	14.7 × 10cm
2008.10.27 MEXICAN AIR			
最後のスケッチ 21	紙、鉛筆	ANA HOTEL TOYAMA	14.7 × 10cm
最後のスケッチ 22	紙、鉛筆	ANA HOTEL TOYAMA	14.7 × 10cm
最後のスケッチ 23	紙、鉛筆	ANA HOTEL TOYAMA	14.7 × 10cm
最後のスケッチ 24	紙、鉛筆	ANA HOTEL TOYAMA	14.7 × 10cm
最後のスケッチ 25	紙、鉛筆	ANA HOTEL TOYAMA	14.7 × 10cm
影			
最後のスケッチ 26	紙、鉛筆	The Grand Hotel · Daegu	15.5 × 10cm
TOKYO			
最後のスケッチ 27	紙、鉛筆	The Grand Hotel · Daegu	15.5 × 10cm
TOKYO			
最後のスケッチ 28	紙、鉛筆	The Grand Hotel · Daegu	15.5 × 10cm
最後のスケッチ 29	紙、鉛筆	The Grand Hotel · Daegu	15.5 × 10cm
最後のスケッチ 30	紙、鉛筆	The Grand Hotel · Daegu	15.5 × 10cm
最後のスケッチ 31	紙、鉛筆	The Grand Hotel · Daegu	15.5 × 10cm
最後のスケッチ 32	紙、鉛筆	The Grand Hotel · Daegu	15.5 × 10cm
最後のスケッチ 33	紙、鉛筆	The Grand Hotel · Daegu	15.5 × 10cm
最後のスケッチ 34	紙、鉛筆	The Grand Hotel · Daegu	15.5 × 10cm
最後のスケッチ 35	紙、鉛筆	The Grand Hotel · Daegu	15.5 × 10cm
13 : 05 : 00			
最後のスケッチ 36	紙、鉛筆	The Grand Hotel · Daegu	15.5 × 10cm
最後のスケッチ 37	紙、鉛筆	The Grand Hotel · Daegu	15.5 × 10cm
最後のスケッチ 38	紙、鉛筆	The Grand Hotel · Daegu	15.5 × 10cm
最後のスケッチ 39	紙、鉛筆	The Grand Hotel · Daegu	15.5 × 10cm
車内描きまくり、自然 人 文化			
最後のスケッチ 40	紙、鉛筆	The Grand Hotel · Daegu	15.5 × 10cm
最後のスケッチ 41	紙、鉛筆	The Grand Hotel · Daegu	15.5 × 10cm
最後のスケッチ 42	紙、鉛筆	The Grand Hotel · Daegu	15.5 × 10cm
2011/10/01			
最後のスケッチ 43	紙、鉛筆	The Grand Hotel · Daegu	15.5 × 10cm
最後のスケッチ 44	紙、鉛筆	The Grand Hotel · Daegu	15.5 × 10cm
最後のスケッチ 45	紙、鉛筆	The Grand Hotel · Daegu	15.5 × 10cm
最機			
最後のスケッチ 46	紙、鉛筆	The Grand Hotel · Daegu	15.5 × 10cm
最後のスケッチ 47	紙、鉛筆	The Grand Hotel · Daegu	15.5 × 10cm
TOKYO, 13 : 00			
最後のスケッチ 48	紙、鉛筆	The Grand Hotel · Daegu	15.5 × 10cm
最後のスケッチ 49	紙、鉛筆	JAL	14.8 × 10cm
最後のスケッチ 50	紙、鉛筆	JAL	14.8 × 10cm
パターンで意味を作るバンクーバー			
最後のスケッチ 51	紙、鉛筆	JAL	14.8 × 10cm
最後のスケッチ 52	紙、ペン	JAL	14.8 × 10cm
NEWYORK			
最後のスケッチ 53	紙、ペン	JAL	14.8 × 10cm
三條発 3時間12分おくれ			
最後のスケッチ 54	紙、ペン	JAL	14.8 × 10cm
最後のスケッチ 55	紙、ペン	JAL	14.8 × 10cm

作品名	材質	所蔵	寸法
最後のスケッチ 56 08.11/26	紙、ペン	北京飯店	15.0 × 10.cm
最後のスケッチ 57 08.12.5 TOKYO	紙、鉛筆		8.0 × 9.4cm
最後のスケッチ 58 2011/12/05	紙、鉛筆		8.0 × 9.4cm
最後のスケッチ 61 2011/12/05	紙、鉛筆		8.0 × 6.2cm
最後のスケッチ 59 TOKYO	紙、鉛筆		8.1 × 10.4cm
最後のスケッチ 60 2008.12.8	紙、鉛筆		8.1 × 6.8cm
最後のスケッチ 62 2011/12/11	紙、鉛筆		13.0 × 13.cm
最後のスケッチ 63 2011/12/13	紙、鉛筆		10.1 × 10.cm
最後のスケッチ 64 2008.12.18	紙、鉛筆	八幡平ロイヤルホテル	15.0 × 10.cm
最後のスケッチ 65 2008.12.18 富山空港	紙、鉛筆	八幡平ロイヤルホテル	15.0 × 10.cm
最後のスケッチ 66 世界の都市・東京 輝く未来 東洋の心 天地人…	紙、鉛筆	八幡平ロイヤルホテル	15.0 × 10.cm
最後のスケッチ 67	紙、鉛筆	八幡平ロイヤルホテル	15.0 × 10.cm
最後のスケッチ 68	紙、鉛筆	ロイヤルパークイン名古屋	15.0 × 10.cm
最後のスケッチ 69 2011/09/22	紙、鉛筆		20.6 × 14.cm
最後のスケッチ 70 2008.12.7	紙、鉛筆・ペン		24.0 × 16.cm
最後のスケッチ 71 2008.12.7	紙、鉛筆・ペン		18.8 × 16.cm
最後のスケッチ 72 2008.12.8	紙、鉛筆		12.1 × 15.cm
最後のスケッチ 73 2008.12.8	紙、鉛筆		12.0 × 18.cm
最後のスケッチ 74 2008.12.8	紙、鉛筆		11.7 × 18.cm
最後のスケッチ 75	紙、鉛筆		11.8 × 18.cm
最後のスケッチ 76	紙、鉛筆		10.7 × 9.1cm
最後のスケッチ 77	紙、鉛筆		11.6 × 14.cm
最後のスケッチ 78	紙、鉛筆		12.6 × 14.cm
最後のスケッチ 79 08.12/13	紙、鉛筆		10.1 × 11.cm
最後のスケッチ 80	紙、鉛筆		12.2 × 15.cm
最後のスケッチ 81 08.12/13	紙、鉛筆		21.0 × 15.cm
最後のスケッチ 82 緑、鳥	紙、鉛筆		19.0 × 21.cm
最後のスケッチ 83	紙、鉛筆・ペン		21.9 × 17.cm
最後のスケッチ 84 新東京シンボルマーク世界の東京・発信都市…	紙、ペン		20.0 × 19.cm
最後のスケッチ 85 2008.12.4 TOKYO	紙、鉛筆		29.7 × 21.cm
最後のスケッチ 86	紙、鉛筆		29.7 × 21.cm
最後のスケッチ 87	紙、ペン		29.6 × 21.cm

展覧会事業
小企画展

平成23年度 いわき市小・中学生版画展

本展は、いわき市内の小・中学生が過去1年間に制作した版画作品を公募し公開展示することにより、児童生徒の日ごろの成果を広く市民に紹介するとともに、児童生徒が造形学習や表現行為への興味と喜びを体験する機会とし、創作意欲の向上を促すことを目的として開館以来開催を続けている。

本年度は東日本大震災の余震への安全対策として、展示仮設パネルの削減、展示高の抑制など展示壁面積を減らした会場構成をとるため、個人作品の規格上限を四つ切サイズから八つ切サイズに変更して作品募集とした。第1回展以来、初めての規格変更であったが

大きな混乱も無く計画通りの展示構成をとることができた。

出品状況は、震災の影響で教育現場が多忙を極める中での開催となったこともあり昨年比で参加者数1300人減、出品点数713点減、参加校数2減という状況であった。

会期中の催しとして、プリント・コーナー&版画の広場、わくわくアートスクール「カセットプラント・ファクトリーこどもの方舟ーいのちを考える」、さらにコンサート&パフォーマンスとして三井住友海上文化財団による復興支援コンサート「春を祝うーにぎやかな木管五重奏」を開催し好評を得た。

会期	前期 平成24年1月5日(木)～1月15日(日) 後期 平成24年1月18日(水)～1月29日(日)
会場	いわき市立美術館
主催	いわき市教育委員会／いわき市立美術館
協力	小学校教育研究会版画工作部会／中学校教育研究会美術部会



■参加校及び出品点数

参加校	75校	小学校 64校 中学校 8校 特別支援学校 3校	前期展示 5,541点 個人作品 5,460点 共同制作作品 81点
出品点数	10,605校	個人作品 10,411点 共同制作作品 194点	後期展示 5,064点 個人作品 4,951点 共同制作作品 113点
出品者数	14,511校	小学校 13,868人 中学校 477人 特別支援学校 166人	前期出品者数 6,713人 後期出品者数 7,798人

■平成23年度 いわき市小・中学生版画展 前期・後期展示別一覧

【前期展示】

小学校

平第五小学校
平第六小学校
郷ヶ丘小学校
豊間小学校
草野小学校
四倉小学校
大浦小学校
大野第一小学校
久之浜第二小学校
小白井小学校
白水小学校
内町小学校
高坂小学校
宮小学校
好間第一小学校
好間第二小学校
沢渡小学校
差塩小学校
小名浜第一小学校
小名浜東小学校
鹿島小学校
江名小学校
泉小学校
渡辺小学校
湯本第一小学校
湯本第二小学校
汐見が丘小学校
錦小学校
勿来第一小学校
勿来第二小学校
勿来第三小学校
上遠野小学校

入遠野小学校

特別支援学校

福島県立平養護学校
福島県立いわき養護学校

【後期展示】

小学校

平第一小学校
平第二小学校
平第三小学校
平第四小学校
中央台北小学校
中央台南小学校
中央台東小学校
高久小学校
夏井小学校
久之浜第一小学校
小川小学校
小玉小学校
川前小学校
綴小学校
高野小学校
好間第四小学校
三阪小学校
永戸小学校
永井小学校
小名浜第二小学校
小名浜第三小学校
小名浜西小学校
泉北小学校
長倉小学校
磐崎小学校
藤原小学校
植田小学校

錦東小学校

菊田小学校

川部小学校

中学校

平第二中学校
田人第一小学校
内郷第三中学校
江名中学校
湯本第三中学校
磐崎中学校
植田中学校
植田東中学校
上遠野中学校

特別支援学校

福島県立聾学校平分校



本展は、いわきに関係する作家をひろく内外に紹介し、より充実した作品の発展を促す場となることを目的として毎年継続して開催する小企画展である。

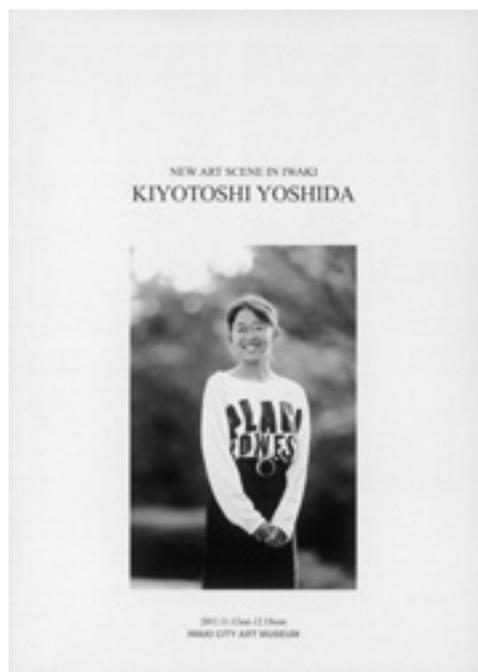
今回の吉田精利（よしだ きよとし）は、1955年いわき市に生まれ、高校1年生頃に写真家・篠山紀信の作品に出会って以来、写真歴40年近いキャリアを重ねるアマチュアカメラマンである。その制作はポートレート撮影を最も得意とし、なかでも特徴的なのは一貫して身近な女性を被写体（モデル）に据え、そのモデルを数年来、時には20年以上

にもわたり撮り続けることにより、作品に自他の多彩な情感を織り込むところにある。

本展では、そんな吉田の長年撮りためた膨大な作品群の中から3名のモデルを選びだし、それぞれ「制服」、「母へ」、「四季」の個別テーマにもとづき14点を展示した。

作品個々のポートレートとしての完成度の高さのみならず、取材の積み重ねに垣間見える記録性、また撮影者・吉田のレンズを通して被写体を見守り続ける優しさ、さらに慈しみにも似た、そのまなざしをも紹介できたのではと思われる。

会期 2011年11月12日(土)～12月18日(日)
主催 いわき市立美術館
会場 1階ロビー特設会場



出品リスト

NO.	作品名	撮影年	サイズ
N-1	奈保美 16才の春に	1986年 5月	半切
N-2	奈保美 17才の秋に	1987年10月	全紙
N-3	奈保美 18才の冬に	1988年 2月	全紙
N-4	奈保美 18才の冬に	1988年 3月	全紙
T-1	朋子 13才の秋に	1989年 9月	全紙
T-2	朋子 13才の秋に	1989年10月	半切
T-3	朋子 23才の春に	1999年 6月	全紙
T-4	朋子 27才の夏に	2003年 8月	全紙
T-5	朋子 32才の初夏に	2008年 6月	全紙
T-6	朋子 33才の春に	2009年 3月	全紙
S-1	早夏 16才の夏に	1988年 7月	全紙
S-2	早夏 17才の秋に	1999年11月	全紙
S-3	早夏 18才の冬に	2000年 1月	半切
S-4	早夏 18才の春に	2000年 4月	半切

第40回いわき市民美術展覧会（市美展）

●書の部

一般応募184点(内、青少年9点)

展示点数212点(招待24点、委嘱3点、

遺作展示1点、一般212点)

前年度、東日本大震災のため第40回市美展書の部を中断せざるを得ない状況となった。約1ヵ月半の臨時休館の後、美術館再開の企画として、平成23年4月30日から5月

8日まであらためていわき市民美術展覧会書の部を展示した。

震災の影響でダメージを受けた2作品については代替作品の出品となったが、出品作品は3月11日のまま、全212点での開催となった。会期二日目には延期となっていた受賞者表彰式を開催。地震や津波による生活基盤の混乱や放射能問題でいわきを離れる人が多い中、ほとんどの受賞者、また大勢の関係者が参加し賑わった。

会期	書の部 平成23年 4月30日～ 5月8日(日)月曜開館
会場	いわき市立美術館 企画展示室
主催	いわき市民美術展覧会運営委員会 いわき市教育委員会
後援	いわき市文化協会 いわき市立美術館 (財)福島県報徳社 福島民報社 福島民友新聞社 いわき民報社 NHK福島放送局 ラジオ福島 福島テレビ 福島中央テレビ 福島放送 テレビユー福島 いわき市民コミュニティ放送
協力	いわき美術協会、いわき陶芸協会、いわき書道協会、 いわきアート集団、いわき写真協会
審査員	書の部 佐々木折柴 酒井泰舟 荒井東苑 滝翠嶺

第41回いわき市民美術展覧会（市美展）

- 絵画・彫塑の部
一般応募190点(内、青少年25点)
展示点数207点(遺作展示1点、招待16点、一般190点)
- 陶芸の部
一般応募95点
展示点数104点(招待9点、一般95点)
- 写真の部
一般応募213点(内、青少年2点)
展示点数217点(招待4点、一般213点)
- 書の部
一般応募137点(内、青少年5点)
展示点数164点(招待22点、委嘱5点、一般137点)

本展は、いわき市民及びいわき市ゆかりの者から作品を公募して公開展示することにより、創作意欲の向上を促し、もって本市の美術文化の振興を図るために毎年開催され、今年で41回目を迎えた。絵画・彫塑、陶芸、写真及び書の部の4部門からなる本展は、いわきの市民芸術の祭典として県内外からも高い評価を得ており、6,197人の入場をみた。



- | | |
|-----|---|
| 会 期 | 絵画・彫塑の部
平成24年 2月11日(土)～ 2月19日(日) |
| | 陶芸の部
平成24年 2月24日(金)～ 3月 4日(日) |
| | 写真の部
平成24年 2月24日(金)～ 3月 4日(日) |
| | 書の部
平成24年 3月 9日(金)～ 3月18日(日) |
| 会 場 | いわき市立美術館企画展示室 |
| 主 催 | いわき市民美術展覧会運営委員会
いわき市教育委員会
いわき市文化協会 いわき市立美術館 |
| 後 援 | (財)福島県報徳社 福島民報社 福島民友新聞社
いわき民報社 NHK福島放送局 ラジオ福島
福島テレビ 福島中央テレビ 福島放送
テレビユー福島 いわき市民コミュニティ放送 |
| 協 力 | いわき美術協会、いわき陶芸協会、いわき書道協会、
いわきアート集団、いわき写真協会 |
| 審査員 | 絵画・彫塑の部 深井 隆
陶芸の部 前田正博
写真の部 徳光ゆかり
書の部 村上皓南、鈴木胡秀、高久香扇、
細井研堂 |

絵画・彫塑の部 入賞者

賞名	作品名	作家名	住所	部門
いわき市長賞	明日へ吹く風	大川 浩	三沢町	絵画
いわき市議会議長賞	昼月来狐	木下 淑之	小名浜	絵画
いわき市教育委員会教育長賞 《佳 作》	悠久の刻	清水ナミ子	山田町	絵画
いわき市文化協会会長賞	虫の歌	渡辺 洵	勿来町	絵画
福島県報徳社賞	再会	佐藤 もと	常磐上湯長谷町	絵画
//	浄	渡辺 啓	四倉町	絵画
//	透明な憂鬱 B	山本 伸樹	田人町旅人	彫塑
美術館友の会賞	再び旅人に	松 憲	平鎌田	絵画
有限会社トーカイ賞	海からの精霊	近内 賢寿	好間町中好間	彫塑
株式会社箱崎美術広告社賞	鎮魂の祈り	江尻 敏昭	郷ヶ丘	絵画
有限会社平電子印刷所賞	フラワーサーカス団	篠原 成美	平南白土	絵画
椿屋賞	座礁船	今泉 木主	錦町	絵画
//	防波堤 ― 非日常的な時間	根本 裕之	平泉崎	絵画
昭文堂賞	遺構 ― 門	小松 俊介	茨城県つくば市吉瀬	彫塑
//	花景	大内 馥子	金山町	絵画
画廊喫茶モナミ賞	3 - 11 一父ちゃんー	平子 貞男	上小川	絵画
ギャラリー磐城賞	赤い海 (汚染水放出)	遠藤 敏親	鹿島町久保	絵画
アートスペース泉賞	アスファルト・ブロック (5)	斎藤 嘉平	勿来町	絵画
アートスペース エリコーナ賞 《特 別 賞》	暮色蒼然	谷平 芳樹	内郷高坂町	絵画
青少年 (ギャラリーわづくりや) 賞	起こさないように、そのまま。	遠藤 香	平下高久	絵画
青少年奨励 (美術館友の会) 賞	虫の歌	渡辺 洵	勿来町	絵画

※青少年賞は、20歳未満の出品者が対象となる。

※青少年奨励賞は、美術を志す青少年育成のため、25歳以下の上位受賞者を対象にダブル授与される。

陶芸の部 入賞者

賞名	作品名	作家名	住所
いわき市長賞	黄瀬戸八寸角鉢	大平登美子	平上荒川
いわき市議会議長賞	花器	塩山 久子	平下神谷
いわき市教育委員会教育長賞 《佳 作》	華の箱舟	山川 博士	平赤井
いわき市文化協会会長賞	彩磁水指「黎明」	伊藤由季子	小名浜上神白
福島県報徳社賞	葉彩	佐藤 淑子	泉ヶ丘
美術館友の会賞	未来に託す明り壺	市川陶之臣	泉ヶ丘
有限会社平電子印刷所賞	雛祭り・十二単	横山 猛	草木台
ギャラリー界限賞	花入	佐藤 胤信	平下平窪
ギャラリー磐城賞	運ぶ足	箱崎 りえ	植田町
アートスペース泉賞	花器	平子 タキ	小川町上小川

写真の部 入賞者

賞名	作品名	作家名	住所
いわき市長賞	じいちゃん大好き	引地 幸枝	郷ヶ丘
いわき市議会議長賞	いつも一緒に	舛井美智子	平谷川瀬
いわき市教育委員会教育長賞 《佳 作》	縞模様	上原 久子	内郷内町
いわき商工会議所会頭賞	雨上がりの贈り物	久田 喜也	平
いわき市文化協会会長賞	晁矢2歳	江尻 兆一	平北神谷
福島県報徳社賞	初秋の爽客	赤津 芳江	勿来町
美術館友の会賞	復興の舞	四家 和也	内郷高坂町

賞名	作品名	作家名	住所
社団法人 いわき観光まちづくりビューロー賞	宝船	鶴沼 信男	郷ヶ丘
//	眼光	長谷川清夫	四倉町
福島県営業写真館協会いわき支部賞	一步、未来へ	高橋 雅仁	江名
有限会社平電子印刷所賞	「HM-002」	松本 百聞	勿来町
昭文堂賞	しぶきの中を	平沢ミチ子	錦町
東日本国際大学賞	ひとやすみ	葛原 博昭	中央台
ライフ・フォート&YK写真工房賞	春の詩	古川 方明	常磐関船町
カメラ・カラープリント ダゲール賞	またね	ぶ 一	平
小百合賞 (有) 磐植	里山の春	遠藤 文夫	平下神谷
カメラのキタムラ賞	喝采に应えて (秩父夜祭り)	泉 武子	金山町
アートスペース泉賞	秋稼の頃	高萩 泰義	鹿島町米田
カメラの矢吹賞	落日の広野	戸松 博通	郷ヶ丘
マリアジュエル オオヒラ賞	職人	猪狩マツエ	遠野町上遠野
いわき写真協会賞	感謝を込めて	横山 孝	石森

書の部 入賞者

賞名	作品名	作家名	住所
いわき市長賞	呉昌碩詩	金成 晃泉	平豊間
いわき市議会議長賞	邂逅—『伊勢物語』東下り—	江川 文子	泉玉露
いわき市教育委員会教育長賞	七字句	新妻 淡遠	常磐湯本町
《佳 作》			
いわき市文化協会会長賞	呉惟英詩	谷津 淑夫	内郷宮町
福島県報徳社賞	暁	臺 麗子	遠野町滝
//	干若瀛詩	藤由 紫光	中央台
美術館友の会賞	查慎行詩	佐藤 景苑	平
有限会社トーカイ賞	歐陽脩詩	佐藤 春畦	平中神谷
洛賞	陶淵明詩	田中 京華	小名浜
//	王籍詩	樋田 静流	錦町
有限会社平電子印刷所賞	論語 (刻字)	河治 奇雲	山玉町
遠藤一心堂賞	呉昌碩詩	新妻 心葉	郷ヶ丘
//	ふるさと	井戸川保子	郷ヶ丘
関根一心堂賞	傅山詩	山川 榮雪	平
マルナカ表具店賞	梅堯臣詩	吉田 琴紅	内郷宮町
株式会社坂本紙店賞	春さればまづ鳴く鳥の	高橋 楊舟	郷ヶ丘
ホープ商事株式会社賞	七言二句	和田 純孝	平上片寄
有限会社磐植賞	趙嘏詩	今 峰積	内郷内町
アートスペース泉賞	王摩詰詩	関根 精香	中之作
キヨー和賞	李商隱詩	笹原 東邨	中岡町
書優会賞	春雨	青田 佳苑	小名浜大原
株式会社ハニーズ賞	臨 額濟納居延前漢簡	柴田 晃奈	平
株式会社ハニーズ賞	臨 造像記	小野寺香玉	泉玉露
ロッキー賞	呉蘭雪詩	笹田 祐甫	勿来町
風雅プランニング賞	劉禹錫之詩	高萩 祥陽	泉町
風雅プランニング賞	新古今集	鈴木 柳苑	小名浜大原
風雅プランニング賞	張羽詩	寺崎 丹楓	東田町
いわき書道協会賞	臨 傅山	鈴木 多佳	平上荒川
いわき書道協会賞	五言句	佐藤 朱紋	平下荒川
いわき書道協会賞	長三洲詩	大谷 飛燕	平下荒川
いわき書道協会賞	春霞	齋藤 周子	泉町
青少年賞	臨 曇寶子碑	橋本日香里	泉町

※青少年賞は、20歳未満を対象に若手育成を目的として設けられたものであり、毎年審査員が任意に若干名選定する。

普及事業
移動美術館

美術や美術館に親しむきっかけづくりを目的のひとつに、美術鑑賞講座、実技指導、ワークショップなど美術館の機能を館外（市内の学校や地域の公民館等の公共的な施設など）に移動して展開している。

■みんなで元気になるワークショップ・キャラバン「ハートマーク・ヴェーイング」

平成23年9月2日(金)いわき市立平第三中学校

参加者：240名

■彫刻っておもしろい！

平成23年11月4日(金)いわき市立中央台南小学校

参加者：54名

出品作品

《孫》	赤堀心平	ブロンズ	31×26×29cm
《人差し指》	堀内正和	ブロンズ	49.4×16×16cm
《蟬Ⅶ-a》	土谷 武	ブロンズ	12.5×41×20cm
※参考展示／《紙飛行機》	緑川宏樹	陶	

普及事業
講演会

企画展の内容、およびその背景の理解をより深めるために、出品作家や専門の講師を招聘して実施。スライドなどを使ってのレクチャーや作品を前にしてのギャラリー・トークや座談形式など、多彩な内容でより深くより身近な美術鑑賞に繋がるように心がけた。

日時	講師	講座名(内容等)	会場
7月31日	黒田雷児 (福岡アジア美術館学芸課長)	「アジア美術を語る」 「福岡アジア美術館コレクション展」に併せて開催。福岡アジア美術館のコレクションを中心に、現地での作品調査、作家調査の様子をまじえながら現在のアジア美術の様子について、スライドを用いて概説。	セミナー室
11月12日	吉田精利 (出品作家)	アーティスト・トーク 「NEW ART SCENE IN IWAKI 吉田精利」展に併せて開催。展示作品を前にした座談形式で開催。モデルとの信頼関係やカメラ技術に関することなど、参加者の質問に応じる形ですすめられた。	1階ロビー
12月11日	日比野克彦 (アーティスト)	スペシャル・ギャラリーツアー 「福田繁雄大回顧展」に併せて開催。展示室内で作品を前に、福田繁雄の作品世界について、氏の思い出話なども織り交ぜながら分かり易く概説した。	企画展示室

普及事業
美術講座

美術、および美術館理解の一助として、本館学芸員が講師となり随時開催している。



移動美術館／彫刻っておもしろい！中央台南小



講演会／日比野克彦 スペシャルギャラリーツアー



アーティストトーク／吉田精利

日時	講師	講座名(内容等)	会場
8月10日	植田玲子 (本館学芸員)	ティーチャーズ・ミュージアム 学校と美術館の連携をテーマに開催。常設展を中心に「美術館」を教室にして学習する、また教室で「美術館を楽しむ方法について提案。秋以降の展覧会についても紹介。	セミナー室
10月18日	柴田百合子 (本館学芸員)	色彩ワークショップ「色の不思議、色の力」 小学校図画工作科研究研修会として、中央台南小学校で開催。ぬりえによるカラーセラピー・ワークショップを体験しながら、児童に対するストレスケアについて、学校での取り組みの可能性を提案。	中央台南小学校

普及事業 ギャラリー・トーク

作品鑑賞の一助として、常設展では毎週土曜日に、企画展では土曜日、日曜日を中心に開催した。また、常設展・企画展とも、随時、要望に応じて団体説明を実施している。

日時	講師	講座名(内容等)	会場
毎週土曜日(35回開催)	本館学芸員	常設展 ギャラリー・トーク	常設展示室
6月11日 6月25日	本館学芸員	未来のためのアート	企画展示室
7月17日 8月14日 8月28日	本館学芸員	福岡アジア美術館コレクション展	企画展示室
11月20日 12月4日	本館学芸員	ユーモアのすすめ 福田繁雄大回顧展	企画展示室
通年、随時(9回開催)	本館学芸員	企画展及び常設展団体説明	企画展示室、常設展示室

普及事業 ワークショップ

美術、造形に限定しない幅広い表現活動について、実技習得から応用まで講師を中心に参加者の自主性に多くを委ねるかたちで実施。参加者の作品等を特設会場に展示するなど、ワークショップの成果を広く市民に公開する機会を設けた。今年度は、東日本大震災後、市民が抱えてしまった深刻なストレスへの美術館ならではの対応として様々なスタイルの「みんなで元気になるアート・ワークショップ」を開催した。

日時	講師	講座名(内容等)	会場
6月4日～ 10月16日	本館学芸員 スタッフ	みんなで元気になるアート・ワークショップ 「ハートマーク・ヴューイング」 1階ロビーを会場に随時参加で気軽に参加できるワークショップとして開催。参加者の手による個々のハートマークをつなぎ合わせて大型の作品とし、展示した。	1階ロビー



ワークショップ/カラーセラピー ぬりえコーナー



ワークショップ/「美術館的」自由研究ノススメ



ワークショップ/元気のでる発声ワークショップ

日時	講師	講座名(内容等)	会場
6月4日～ 10月16日	本館学芸員 スタッフ	みんなで元気になるアート・ワークショップ 「カラーセラピー めりえコーナー」 1階ロビーを会場に随時気軽に参加できるワークショップとして開催。準備した約20種類のめりえを来館者が自由に楽しめるように配置。仕上ためりえは、期間中ロビーに展示した。 ※めりえ作成：末永蒼生(アートセラピスト)	1階ロビー
7月2日 7月3日 (4回)	馬目佳世子 (アートセラピスト) 他6名	みんなで元気になるアート・ワークショップ 「みんなで元気になる色遊び」 めりえ、紙粘土、折り紙など手先を使った色あそびや全身を使ったえのぐ遊びなどで、緊張した心身をリラックスさせるアート・セラピー・ワークショップ。	2階ロビー
7月8日	森絵留 (劇団かもめ主催) 緑川大 (劇団かもめ)	みんなで元気になるアート・ワークショップ・キャラバン 「元気のでる発声ワークショップ」 声を全身を使って聞き、感じ、喜怒哀楽に応じて腹から発声する方法をゲームとして自然に体験し、声を出すことで心が解かれ、いつのまにかリラックスできるワークショップ。	中央台東小学校
8月3日 8月4日 8月5日	本館学芸員	“美術館的”自由研究ノススメ 夏休み中の小・中学生を対象に実施。常設展の作品鑑賞をスタートに、作品制作、技法の研究、作家の研究、作品の模写など、参加者がそれぞれの研究テーマをもって活動した。最終日には研究発表会を行った。	常設展示室、企画展示室、1階ロビー、セミナー室
8月15日 8月16日 (4回)	馬目佳世子 (アートセラピスト) 他6名	みんなで元気になるアート・ワークショップ 「みんなで元気になる色遊び」 めりえ、紙粘土、折り紙など手先を使った色あそびや全身を使ったえのぐ遊びなど、緊張した心身をリラックスさせるアート・セラピー・ワークショップの2回目。	2階ロビー
8月26日	丹波純 (工学博士)	みんなで元気になるアート・ワークショップ・キャラバン 「よく飛ぶ紙ヒコーキ」 体育館を会場に、紙ヒコーキの折り方から、よく飛ぶヒコーキにするための微調整、飛ばし方までを楽しく体験。	四倉小学校
8月26日	丹波純 (工学博士)	みんなで元気になるアート・ワークショップ・キャラバン 「よく飛ぶ紙ヒコーキ」 体育館を会場に、紙ヒコーキの折り方から、よく飛ぶヒコーキにするための微調整、飛ばし方までを楽しく体験。その後、丹波先生によるペットボトル・ロケットの打ち上げを鑑賞。	中央台南小学校
8月27日 (2回)	丹波純 (工学博士)	みんなで元気になるアート・ワークショップ 「丹波先生といっしょに紙ヒコーキを飛ばしてスカッとしよう」 2種類の紙ヒコーキつくりのほかに、「揚力」の実験や的当てゲームなどを楽しんだ。屋外(中央公園)での紙ヒコーキ飛ばしを十分に楽しんだ後、ペットボトル・ロケットの打ち上げを鑑賞。	1階ロビー 平中央公園



ワークショップ/よく飛ぶ紙ヒコーキ 四倉小



ワークショップ/思い浮べる空



ワークショップ/カナイヒロミのおふとんアート

日時	講師	講座名(内容等)	会場
9月17日 10月22日 (2回)	吉田重信 (美術家)	光の鳥を飛ばそう 「いま。つくりたいもの、伝えたいこと。」展に併せて開催。 吉田重信氏の出品作品「心ノ虹」に参加するかたちで、参加者が「光の鳥」が描かれたカードに自由にメッセージを記入し、オリジナルのポストに投函。郵便というシステムをかりて「光の鳥」を飛ばすワークショップ。	2階ロビー 企画展示室
9月24日	林剛人丸 (美術家)	思い浮かべる空 心の中にある空を描く 「いま。つくりたいもの、伝えたいこと。」展に併せて開催。 参加者が描く「心の中の空」の情景を飛行船に投影し、夜空に浮かべるワークショップの第1回目。参加者がそれぞれの「空」を描いた。	1階ロビー
10月1日	末永蒼生 (アートセラピスト)	みんなで元気になるアート・ワークショップ 「末永蒼生先生のカラー・セラピー～心が元気になる色の力」 色彩と人の心や身体との深い関わりについて、実例をあげながらレクチャー。その後、ぬりえを通して色の力を体験し、心やからだに及ぼす効果を実感した。	セミナー室
10月9日	林剛人丸 (美術家)	思い浮かべる空 飛行船で浮かべる心の空 「いま。つくりたいもの、伝えたいこと。」展に併せて開催。 参加者が描く「心の中の空」の情景を飛行船に投影し、夜空に浮かべるワークショップの第2回目。第1回目のワークショップで描いた空の絵が投影された全長6メートルの飛行船を空に浮かべた。	1階ロビー
10月1日 10月2日 (4回)	馬目佳世子 (アートセラピスト)	みんなで元気になるアート・ワークショップ 「みんなで元気になる色遊び」 ぬりえ、紙粘土、折り紙など手先を使った色あそびや全身を使ったえのぐ遊びなど、緊張した心身をリラックスさせるアート・セラピー・ワークショップの3回目。	2階ロビー
11月19日 11月20日 12月3日 12月4日 1月7日 1月8日 2月4日 2月5日 3月17日 3月18日	カナイヒロミ (造形作家)	みんなで元気になるアート・ワークショップ 「カナイヒロミのおふとんアート」 次年度に開催予定の橋爪功氏による朗読会会場の舞台美術として木の葉のオブジェを制作。	1階ロビー
12月11日	日比野克彦 (アーティスト)	二次元的三次元的二次元 「福田繁雄大回顧展」に併せて開催。日常感じている自分の問題点をテーマにした、黄色と黒2色の平面構成と英単語1つによってポスターを制作。視点の転換、発送の逆転など、福田繁雄のデザイン思考を体験。	セミナー室
1月5日～ 1月29日	当館スタッフ	プリントコーナー＆版画の広場 「小・中学生版画展」の事業の一環として開催。参加者が随時、自由に版画制作を楽しめるように1階ロビーに紙版画の体験コーナーを設置。仕上げた作品は正面玄関前の「版画の広場」に展示。	1階ロビー特設 会場、正面玄関



ワークショップ/カセットプラント 子どもの方舟



ワークショップ/みんなで元気になる色遊び



ワークショップ/プリントコーナー＆版画の広場

日時	講師	講座名(内容等)	会場
1月21日 1月22日	山口啓介 (美術家)	わくわくアートスクール 「カセットプラント・ファクトリー 子どもの方舟—いのちをかんがえる」 「小・中学生版画展」に併せて開催。《カセットプラント》の発案者山口啓介氏を講師に招き、1階ロビーのガラス壁を1千個を超えるカセットプラントで覆う作品「こどもの方舟」を仕上げた。2日間をとおし山口氏の作品が発する命や未来についてのメッセージを体感、体現するワークショップとなった。	セミナー室 1階ロビー
3月9日	小本章 (収蔵作家)	収蔵作家ワークショップ 「絵画と写真の接点—自然の美しい色を探そう」 平第一小学校6年生85人を対象に実施。空の色、肌の色、植物(葉)など自然の美しい色の表現を大きなテーマとしたワークショップ。画用紙と水彩絵具で、本物の葉っぱの色を再現し、作品とする過程を楽しんだ。	平第一小学校
3月10日 3月11日	小本章 (収蔵作家)	収蔵作家ワークショップ 「絵画と写真の接点—自然の美しい色を探そう」 常設展で展示中の小本氏の作品《SEEING 81-11》の鑑賞、小本氏によるデモンストレーション見学の後、絵画と写真を融合させた小本氏の表現世界を体験し、作品を仕上げた。	セミナー室 1階ロビー
3月25日 (2回)	馬目佳世子 (アートセラピスト)	みんなで元気になるアート・ワークショップ 「みんなで元気になる色遊び」 ぬりえ、紙粘土、折り紙など手先を使った色あそびや全身を使ったえのぐ遊びなど、緊張した心身をリラックスさせるアート・セラピー・ワークショップの4回目。	2階ロビー
3月25日	末永蒼生 (アートセラピスト)	みんなで元気になるアート・ワークショップ 「末永蒼生先生の色彩心理学 I～色の不思議と心の力」 絵を描くことと心の関係について、ムンクの例をひきながらのレクチャーとぬりえ体験をとおして考察した。	セミナー室

普及事業 実技講座

開催中の展覧会に関連したプログラム、また、独自のプログラムにより開催。講師による公開制作と連携させることにより、より多くの興味と関心に答えられるよう配慮した。

日時	講師	講座名(内容等)	会場
	当館学芸員	はじめての銅版画 7、8月の夜間開館に併せた金曜日と隔週土曜日の全12回の日程で、初心者(12×15cm)と経験者(15×18cm)がともに作品2点を制作した。きめ細かいマンツーマンの指導で初心者から経験者まで習熟度、希望に応じたプログラムで、作業の進み具合等により参加者が自由な時間設定で受講できる参加システムをとった。	実技講習室



コンサート/姜泰煥「山河を鎮魂する」



朗読&トーク/「詩の礎、詩の力」



コンサート/春を祝う—にぎやかな木管五重奏

日時	講師	講座名(内容等)	会場
11月20日 12月4日 12月18日	吉田精利 (写真家)	屋外ポートレイト撮影入門 NEW ART SCENE IN IWAKIに併せ、出品作家吉田精利氏を講師として開催。単なる肖像ではなく「人物撮影による写真作品」の制作を目指し、2名のモデルを配しての2日間の実地指導とプリントの後、合評会を開催した。	1階ロビー 実技講習室 中央公園
3月3日 3月10日 3月17日 3月24日	小野悦子 小松スミ子	吊るし飾り入門 市内在住の二人の講師により、初心者を対象として4日間のコースで開催。それぞれ4つの細工物からなる「桃の節句」、「端午の節句」の吊るし飾りを制作した。	実技講習室

普及事業
公開制作
(公開講座)

展覧会に関連した内容で、技法の理解、作品の理解をより深く具体的にすることを目的に開催。また、実技講座と連携をはかり参加者の制作活動にも生かせる内容とした。

日時	講師	講座名(内容等)	会場
11月20日	吉田精利 (出品作家)	吉田精利のカメラアイ NEW ART SCENE IN IWAKIに併せ、出品作家吉田精利のポートレイト撮影術の公開、実演。	企画展示室1

普及事業
映像鑑賞会

今年度は、DVDなどの映像ソフトの利用による映像鑑賞会を開催しなかった。

普及事業
コンサート&
パフォーマンス

企画展、常設展とその都度連動させながら、時代とともに多様に変遷する表現芸術の数々をいろいろな角度から紹介、検証する試み。今年度は、東日本大震災の被災支援のためのボランティアによるコンサートや震災関連のパフォーマンスを紹介した。

日時	講師	講座名(内容等)	会場
9月15日	姜泰煥 (サクソ奏者)	姜泰煥来日記念コンサート「山河を鎮魂する」 東日本大震災と原発事故に見舞われたいわき市を支援しようという親日家、姜泰煥氏の申し出で実現したソロ・コンサート。循環呼吸奏法の実験者として多くの後進に影響を与える世界的サクソ奏者の自然と人間への祈りの演奏を紹介した。	1階ロビー
9月25日	和合亮一(詩人)	朗読&トーク「詩の礫、詩の力」 企画展「いま。つくりたいもの、伝えたいこと。」展に関連した詩の朗読パフォーマンス。大震災直後よりツイッターで福島の実況を発信	2階ロビー



篠原有司男ボクシング・ペインティング



糸の森の中で…“いのち”へ響くコンサート

日時	講師	講座名(内容等)	会場
		し続けたことで全国的に注目を浴び、その後それらを三部作の詩集として発表した和合氏の自作の朗読とトークにより詩の力、芸術の力について参加者とともに考える時間となった。	
1月15日	甲斐雅之 (フルート) 和久井仁 (オーボエ) 伊藤 圭 (クラリネット) 佐藤由紀 (ファゴット) 日高 剛 (ホルン)	春を祝う—にぎやかな木管五重奏 —NHK交響楽団メンバー木管五重奏団による— NHK交響楽団メンバーによる東日本大震災被災地支援のためのボランティアによるコンサート。市民の心を癒す名曲の数々を披露し大いに喜ばれた。	常設展示場
3月 4日	篠原有司男 (美術家)	篠原有司男ボクシング・ペインティング 大震災から一年が経過したいわきを応援したいとの意向により、当館正面玄関前にてボクシング・ペインティングのパフォーマンスを実施。極寒の中、80歳という年齢を忘れさせるエネルギッシュなパフォーマンスに参加者から大きな声援が送られた。	正面玄関前
3月31日	水嶋一江 (ストリングラフィ編曲、演奏) 篠原もとこ・KIKU(ストリングラフィ演奏) 森絵留・緑川こころ(朗読パフォーマンス)	糸の森の中で… “いのち”へ響くコンサート 長年当館と関わりの深いアーティストによる被災地支援パフォーマンス。アーティスト自身も被災者として被災避難を経験した中、自らがアートで疲れた心を回復させた経験を通し、来館者を元気づけるコンサートとパフォーマンスを紹介。糸電話の原理を応用した珍しいオリジナル楽器の音色とユーモラスなパフォーマンスが会場を和らげ、会場全員による大合唱で一体感を共有するひと時となった。	企画展示室Ⅱ

普 及 事 業 出 版

● THE GALLERY =いわき市立美術館ニュース

当館のニュースとして「THE GALLERY」を2回発行した。

No.52 (平成 23 年 9 月 15 日発行)

- ・いま。つくりたいもの、伝えたいこと (竹内啓子 本館学芸員)
- ・ユーモアのすすめ — 福田繁雄大回顧展 (柴田百合子 本館学芸員)
- ・Voice

「いわき総合高校美術部 震災をのりこえて」

(國島 敏 福島県立いわき総合高等学校教諭)

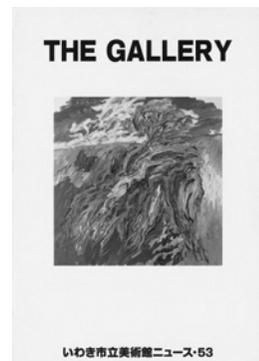
- ・大震災から半年が経過して (副館長 佐々木吉晴)
- ・図書室だより (下山田 本館図書担当)
- ・表紙解説 篠原有司男 「シティバスとマジンガーZ」 (平野明彦 本館学芸員)

No.54 (平成 24 年 3 月 30 日発行)

- ・宮沢賢治の芸術 未来へのメッセージ (植田玲子 本館学芸員)
- ・ホノルル美術館所蔵「北斎展」 (竹内啓子 本館学芸員)
- ・Voice

「磐城高校の美術部・・・今」 (根本正辰 福島県立磐城高等学校教諭)

- ・現代美術の基礎知識・51



- 「すべてのものたちに光あれ！」 (平野明彦 本館学芸員)
 ・ 図書室だより (下山田 本館図書担当)
 ・ 表紙解説 田淵安一 《地下の樹》 (杉浦友治 本館学芸員)

●いわき市立美術館年報

平成 22 年度年報 B5 判 61 ページ

●展覧会図録等

いま。つくりたいもの、つたえたいこと。 A5 判 32 ページ

NEW ART SCENE IN IWAKI 吉田精利展 パンフレット A4 判 6 ページ

ラファエル前派の水彩画－バーン＝ジョーンズの模写に挑戦パンフレット A4 判 10 ページ

未来のためのアート ギャラリーガイド 21 × 10cm 8 ページ

福岡アジア美術館コレクション展作品鑑賞ガイド 22.3 × 17cm 6 ページ

普及事業
**実技講習室
 の公開**

“みる・きく・つくる”の実践の場として、実技講習室を随時開放している。大型プレス機による版画、テラコッタ焼成、ブロンズ鋳造など、美術館ならではの制作と出会いの場となっている。

普及事業
図書室の公開

午前 9 時 30 分～午後 5 時（7、8 月の金曜日は、午前 9 時 30 分～午後 8 時）まで室内閲覧に限り図書室を公開している。展覧会図録など図書室で公開していない資料類についても、申し出により閲覧できることとしている。また、企画展ごとに関連図書を展示場内の一箇所に配置するなど、展覧会鑑賞の一助になるようにしている。



普及事業
**実習生の
 受け入れ**

■博物館実習

7月28日(木)から8月10日(水)までの12日間、学芸員資格取得を目的とする博物館実習を行い、8名の実習生を受け入れた。

■インターンシップ

市内の高等学校および高等専門学校より、職業観・勤労観を養い、職業に対する興味・関心を喚起することを目的とした職場体験学習の要請があり、次のように受け入れた。

- ・ 8月15日(月)～19日(金) 5日間 福島工業高等専門学校 4年次5名
- ・ 10月 4日(火)～6日(木) 3日間 好間高等学校 1学年4人

普 及 事 業
共 催 事 業

日 時	講 師	講 座 名	共 催 先	会 場
7月 3日～ 7月31日		デッサン教室参加者発表会	美術館友の会	いわき市立美術館 1階ロビー
9月10日～ 9月11日		裸婦デッサン会	美術館友の会 いわき美術協会	いわき市立美術館
2月11日	峰丘 天野和雄 石井實 中村亨司 吉田昭男 渡辺文雄 石川進 小滝勝平 安斉重夫	市美展 絵画・彫塑の部招待作家 による入選作品批評会	いわき市民美術展覧会運営 委員会(絵画・彫塑の部)	いわき市立美術館 企画展示室
2月26日	山口忠重 上遠野良夫 上遠野真人 吉田精利	市美展 写真の部招待作家による 作品解説会	いわき市民美術展覧会運営 委員会(写真の部)	いわき市立美術館 企画展示室
3月11日	村上皓南 鈴木胡秀 高久香扇 細井研堂	市美展 書の部審査員による作品 解説会	いわき市民美術展覧会運営 委員会(書の部)	いわき市立美術館 企画展示室

所 蔵 資 料

- A. 美術作品の収蔵状況
- B. 美術作品の貸出状況
- C. 資料の購入等に関する状況

A. いわき市立美術館美術品収蔵状況

年 度	購 入		寄 贈		移管	計	寄 託	
	点数	備 考	点数	備 考			点数	備 考
昭55年度	68	※	10			78	1	一色ちかこ
56	115	※	337	宝船 312 点		452	1	白河城跡
57	75		26	※		101		
58	357		67	資料 3 点含む	5	429		
59	54		27		4	85		
60	53		37			90		
61	23		105		7	135	1	下村観山
62	7		22			29		
63	21		8			29		
平元年度	11		9		2	22		
2	17		28	資料 2 点含む		45	38	
3	10		5			15	1	舟越桂
4	9		9			18	4	田口安男
5	9	※	0			9		
6	5		4			9	8	田口安男
7	7		4			11		
8	7		2			9		
9	11		1			12		
10	28		6			34		
11	8	※	37			45	- 38	平成 2 年度分返却
12	11		23			34	5	松田松男作品
13	8		22			30		
14	8		1			9		
15	12		42			54	2	中村一美
16	33		13			46		
17	17		8			25		
18	3		1			4		
19	0		3			3	- 1	昭和56年分返却
20	0		30			30	14	イケムラレイコ13点、河口龍夫1点
21	0		1		0	1		
22	0		0		0	0		
23	0		40	資料 9 点含む			- 12	平成 4 年度、平成 6 年度分返却
計	987		928		18	1893	24	

※：平成 21 年度に見直し。

B. 美術品の貸し出し状況

作家名	作品名	貸し出し先	貸出期間	目的（展覧会名）
李禹煥	点より	グッゲンハイム美術館	2011年 6月7日～10月14日	李禹煥展
菊畑茂久馬	植物図鑑	福岡市美術館	2011年 6月16日～9月16日	菊畑茂久馬展
宮島達男	Counter History	東京藝術大学大学美術 館	2011年 7月26日～8月24日	今、美術の力で——被災地美術館所蔵作品から
中村一美	破庵29(奥聖)			
河口龍夫	関係——叡智・鉛の百科事典			

作家名	作品名	貸し出し先	貸出期間	目的（展覧会名）			
M.C.エッシャー	昼と夜	横須賀美術館	2011年 8月25日～11月10日	トリック&ユーモア展			
M.C.エッシャー	めぐり会い						
M.C.エッシャー	登って降りて						
M.C.エッシャー	三つの世界						
M.C.エッシャー	婚姻の絆						
M.C.エッシャー	滝						
ヴィクトル・ヴァザルリ	C.T.A.-103-A						
ブリジット・ライリー	オルフェウス悲歌 I						
ベルナール・ビュッフェ	裸婦	福島県立美術館	2011年 9月1日～10月19日	がんばろう福島 生きる力・美の力			
レオナルド・クレモニーニ	普通列車						
アラン・ダーカンジェロ	プロポジション #5						
アレックス・カツ	ドンとサンドラ						
ホワン・ヘノベス	逮捕された男						
ジャン・デュビュッフェ	瞬間の定着						
アンソニー・グリーン	パッション II						
ホルスト・アンテス	ホピの年						
ホルスト・アンテス	ミュンヘン・オリンピック・アート・ポスター						
F. フンデルトワッサー	緑の力						
F. フンデルトワッサー	燃え上がる冬						
F. フンデルトワッサー	夜の壁						
F. フンデルトワッサー	黒い鯨の歌						
アンデイ・ウォーホル	花(10点組)						
鈴木新夫	赤い鉄骨						
松田松雄	風景(民一A)						
若松光一郎	宇宙の響 2						
田口安男	手のうら焰						
赤塚祐二	Canary 29211				DIC川村記念美術館	2012年 1月4日～4月29日	抽象と形態：何処までも顕われないもの

C. 所蔵資料に関する状況

●図書資料

	購 入			受 贈			計
	図 書	図録・目録	館報・紀要	図 書	図録・目録	館報・紀要	
平成20年度まで	4,755	137	6	2,209	16,770	4,070	27,947
平成21年度	72	2	0	116	473	217	880
平成22年度	58	6	0	59	186	256	565
平成23年度	140	3	0	16	301	118	578
計	5,025	148	6	2,400	17,730	4,661	29,970

●映像資料

	購 入									受 贈							計		
	スライド	フィルム	ビデオテープ	LD	CD-ROM	カセットテープ	CD	DVD	DVD-ROM	スライド	フィルム	ビデオテープ	LD	CD-ROM	カセットテープ	CD		EB	DVD
平成20年度まで	16	11	245	51	8	0	4	65		0	0	56	0	50	1	6	1	24	538
平成21年度					3			3				3		3		1		15	28
平成22年度					1											3		6	10
平成23年度								1	2					1		1		2	7
計	16	11	245	51	12	0	4	69	2	0	0	59	0	54	1	11	1	47	583

D. 平成23年度新収蔵作品

凡 例

1. この目録には、平成23年度のいわき市立美術館新収蔵作品を収録した。
2. 作品の分類は、平面作品Ⅰ（直接技法に基づくもの）、平面作品Ⅱ（間接技法に基づくもの：版画等）、平面作品Ⅲ（ポスター、写真等）、立体作品、映像・その他とした。
3. 各作品のデータは以下の通り。
整理番号／作者名（生没年）
作品名
制作年
技法・材質
寸法
サインの位置及び年記
最初の発表展覧会及び受賞歴
収蔵の経緯
登録番号
4. 作家名は分類ごとに日本人作家と外国人作家に大別し、日本人作家は五十音順に、外国人作家は姓のアルファベット順に配列した。
5. 制作年は、作品に明記されているもの、及び制作事情の明確なものに限って記載した。
6. 寸法は、センチメートルを単位として、'平面作品では画面の縦×横、立体作品では高さ×幅×奥行きとした。

【平成23年度 収蔵作品分類】

平面作品Ⅰ	18点
平面作品Ⅱ	5点
平面作品Ⅲ	0点
立体作品	3点
映像・その他	5点
資料	9点
計	40点

〈平面作品Ⅰ〉

1. 阿部セキ（1915～2004）

かに
1977
水彩・紙
98×131.5
第13回いわき美術協会
展（いわき市文化セン
ター、1977）
受贈 阿部修二
23-26



2. 阿部セキ（1915～2004）

市場の一隅
1978
油彩・カンヴァス
113.8×147
第8回いわき市民美術
展覧会（いわき市文化
センター、1978）
受贈 阿部修二
23-27



3. 阿部セキ（1915～2004）

さかな
1985
水彩・紙
75.5×119
第14回いわき市民美術
展覧会（いわき市文化
センター、1985）
受贈 阿部修二
23-28



4. 田口安男（1930～）

男子裸体
1954
油彩・カンヴァス
106×65.2
田口安男の全貌展（いわき市
立美術館、1992）
受贈 小島義雄
23-14



5. 田口安男 (1930~)

上昇と屈折
1957
油彩・カンヴァス
91×116.7
個展 (池田20世紀美術
館、1983)
受贈 作家
23-18



6. 田口安男 (1930~)

すれちがうもの
1959
油彩・カンヴァス
116.7×90.9
第1回黒土会展 (1959)
受贈 小島義雄
23-15



7. 田口安男 (1930~)

白と黒の間
1959
油彩・カンヴァス
145.5×112.1
第1回黒土会展 (1959)
受贈 作家
23-19



8. 田口安男 (1930~)

よぎるむれ
1965
油彩・カンヴァス
193×220
個展 (文藝春秋画廊、
1965)
受贈 小島義雄
23-16



9. 田口安男 (1930~)

みだれみだれ
1965
油彩・カンヴァス
183×364
個展 (文藝春秋画廊、
1965)
受贈 小島義雄
23-17



10. 田口安男 (1930~)

手繰り出す眼
1965
油彩・カンヴァス
134.3×227.2
個展 (文藝春秋画廊、
1965)
受贈 作家
23-20



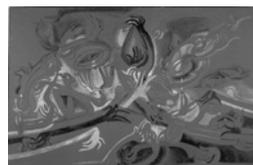
11. 田口安男 (1930~)

眼の鳥
1977
テンペラ・カンヴァス
218×227
個展 (セントラル美術
館、1977)
受贈 作家
23-21



12. 田口安男 (1930~)

手のうら焰
1977
テンペラ・カンヴァス
218×333.3
個展 (セントラル美術
館、1977)
受贈 作家
23-22



13. 田口安男 (1930~)

もちあい三つ手B
1982
テンペラ・カンヴァス
53×53
個展 (ギャラリー上田、1982)
受贈 作家
23-23



14. 田口安男 (1930~)

三美神
1992
テンペラ・カンヴァス
218×333.3
田口安男の全貌展 (い
わき市立美術館、1992)
受贈 作家
23-24



15. 田口安男 (1930～)

白道 - 気 -
1992
油彩、テンペラ・カンヴァス
291×436
田口安男の全貌展 (いわき市立美術館、1992)
受贈 作家
23-25



16. 野村和弘 (1958～)

タブロー形式の作品 1-347
1989～
アクリル絵具、カンヴァス、木枠
26×19.5×3
個展 (タグチファインアート、2001)
受贈 作家
23-3



17. 野村和弘 (1958～)

タブロー形式の作品 1-349
1989～
アクリル絵具、カンヴァス、木枠
26×19.5×3
個展 (タグチファインアート、2001)
受贈 作家
23-4



18. 野村和弘 (1958～)

壁画形式の作品 1-432
2010
アクリル絵具、カンヴァス、紙・木
166.8×135
野村和弘 / 東島毅 みることを
かんがえる (いわき市立美術館、
2010)
受贈 作家
23-5



〈平面作品Ⅱ〉

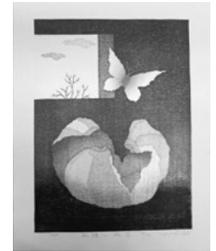
1. 大津一幸 (1935～)

孤蝶 - 虚空
1981
木版・紙 ed.42/150
29.5×24
一翠堂グループ展 (鎌倉市、
1983)
受贈 作家
23-29



2. 大津一幸 (1935～)

孤蝶 - 虚空
1985
木版・紙 ed.23/120
45×32
個展 (白銅てい画廊、1985)
受贈 作家
23-30



3. 大津一幸 (1935～)

緑中御堂
2009
木版・紙 ed.100/100
32.5×22.5
個展 (ギャラリー界限、2009)
受贈 作家
23-31



4. 野村和弘 (1958～)

eva (newborn)
2008
リトグラフ・紙 ed.2/25
38.5×28.5
野村和弘 / 東島毅 みることを
かんがえる (いわき市立美
術館、2010)
受贈 作家
23-12



5. 郭徳俊 (1937～)

オバマと郭
2009
シルクスクリーン・紙 ed.14/30
51.5×36.5
受贈 作家
23-13



〈立体〉

1. 川島清 (1951～)
彫刻への記憶－鉄
1984
鉄
45×91.5×180
個展 (ときわ画廊、1985)
受贈 作家
23-1



2. 川島清 (1951～)
桜
1985
木、鉄、鉛
50×80×330
個展 (ときわ画廊、1985)
受贈 作家
23-2



3. 野村和弘 (1958～)
untitled (dance)
2002
玩具、針金、木、アルミ板、
アクリル塗料、ed.2/2
28×23×17
LVRFI (Studio ONO、2006)
受贈 作家
23-6



〈映像、その他の作品〉

1. 野村和弘 (1958～)
double handicapes
2006
DVDビデオ (6分30秒)、ゼログラフィー、紙、ed.1/12
12.5×12.5×1
LVRFI (Studio ONO、2006)
受贈 作家
23-7

2. 野村和弘 (1958～)
eva
2007
2枚組DVDビデオ (各6分15秒)、ゼログラフィー、紙、ed.1/12
12.5×12.5×1
LVRFI 2 (T & Sギャラリー、2008)
受贈 作家
23-8

3. 野村和弘 (1958～)
In der Zukunft wird jeder 15 Minuten Lang mit
Buddha sein
2004
DVDビデオ (8分08秒)、ゼログラフィー、紙、ed.1/12
12.5×12.5×1
発表歴無し
受贈 作家
23-9

4. 野村和弘 (1958～)
In der Zukunft wird jeder 15 Minuten Lang mit
Buddha sein (popular edition)
2008
DVDビデオ (8分37秒)、ゼログラフィー、紙、ed.1/12
12.5×12.5×1
個展 (秋山画廊、2010)
受贈 作家
23-10

5. 野村和弘 (1958～)
frances
2009
DVDビデオ (16秒)、ゼログラフィー、紙、ed.1/12
12.5×12.5×1
個展 (秋山画廊、2010)
受贈 作家
23-11

いわき市立美術館条例

昭和58年12月27日
いわき市条例第58号

(設置)

第1条 美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため博物館法（昭和26年法律第285号。第10条において「法」という。）第18条の規定により、美術館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
いわき市立美術館	いわき市平字堂根町4番地の4

(事業)

第3条 いわき市立美術館（以下「美術館」という。）は、その目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 美術作品その他の美術に関する資料(以下「美術作品等」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 美術に関する調査及び研究を行うこと。
- (3) 美術に関する展覧会、講演会、講習会、映写会等を開催すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、美術館の設置の目的を達成するために必要な事業

(観覧料)

第4条 美術館の常設展（美術作品等の常設展示をいう。以下同じ。）を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。ただし、美術館の特別展（常設展以外の展示をいう。以下同じ。）と併せて観覧する場合又は国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第2条に規定する国民の祝日において観覧する場合は、この限りでない。

2 特別展を観覧しようとする者は、別表第2に定める額の範囲内において、市長が定める観覧料を納付しなければならない。

(撮影等の許可及び料金)

第5条 学術研究等のため、美術館に展示され、又は保管されている美術作品等の写真撮影、模写又は模造等しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第3に定める撮影等料金を納付しなければならない。

(観覧料等の免除)

第6条 市長は、次の各号の一に該当すると認めるときは、観覧料（常設展に係るものに限る。）又は撮影等料金を免除することができる。

- (1) 外国人留学生が、福島県の実施する外国人留学生文化施設等無料観覧制度に基づき観覧するとき。
- (2) 国又は地方公共団体が行う教育、学術又は文化に係る事業の用に供するため撮影等をするとき。

(観覧料等の不返還)

第7条 既納の観覧料又は撮影等料金は、返還しない。ただし、市長は、災害その他不可抗力により、観覧又は撮影等をするのができなくなったときは、既納の観覧料又は撮影等料金を返還することができる。

(入館の制限)

第8条 教育委員会は、美術館に入館しようとする者又は入館している者が次の各号の一に該当すると認めるときは、入館を制限し、又は館外へ退館させることができる。

- (1) 他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれがあるとき。
- (2) 施設、設備又は美術作品等を損傷するおそれがあるとき。

(3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の管理に支障があると認めるとき。

(賠償責任)

第9条 入館者は、施設、設備又は美術作品等を損傷し、又は滅失したときは、教育委員会の指示するところに従い、その損害を賠償し、又はこれを原状に回復しなければならない。ただし、市長は、相当の理由があると認める場合は、その全部又は一部を免除することができる。

(美術館協議会)

第10条 法第20条第1項の規定に基づき、いわき市立美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が委嘱する。

3 協議会は、委員15人以内で組織する。

4 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(委任)

第11条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この条例は、昭和59年4月28日から施行する。ただし、第1条から第3条まで、第10条及び第11条の規定は、昭和59年4月1日から施行する。

(略)

附 則（平成24年3月21日いわき市条例第35号）

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

別表第1（第4条関係）

区 分	観 覧 料	
	個 人	団 体
一 般	210円	160円
高校生、高等専門学校生、大学生	140円	110円
小学生、中学生	70円	50円

備考 団体とは、20人以上をいう。

別表第2（第4条関係）

区 分	観 覧 料	
	個 人	団 体
一 般	1,500円	1,200円
高校生、高等専門学校生、大学生	740円	590円
小学生、中学生	440円	350円

備考 団体とは、20人以上をいう。

別表第3（第5条関係）

区 分		料 金	
写 真 撮 影	モノクローム	1点1回につき	1,570円
	カラー	1点1回につき	3,150円
模 写 、 模 造		1点1日につき	2,100円
熟 覧 、 拓 本		1点1回につき	210円

備考 1 ^{びょう}屏風は、1双を1点とする。

2 1そろいの卷子（巻物をいう。）は、1巻を1点とする。

3 対幅は、1幅を1点とする。

4 撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

いわき市立美術館管理規則

昭和59年3月31日

いわき市教育委員会規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、いわき市立美術館条例（昭和58年いわき市条例第58号。以下「条例」という。）の規定に基づき必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 いわき市立美術館（以下「美術館」という。）に、次の課及び係を置く。

庶務課 庶務係

学芸課 学芸係、普及係

(事務分掌)

第3条 課の事務分掌は、次のとおりとする。

庶務課

- (1) 公印の保管に関すること。
- (2) 予算の経理に関すること。
- (3) 美術館の維持管理に関すること。
- (4) 観覧料及び撮影等料金の徴収に関すること。
- (5) 統計に関すること。
- (6) 美術館協議会に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、学芸課の所掌に属しない事務に関すること。

学芸課

- (1) 美術作品等の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術に関する専門的な調査研究に関すること。
- (3) 展覧会、研究会、講演会、映写会等の開催に関すること。
- (4) 美術に関する案内書、解説書、目録等の刊行に関すること。
- (5) 美術作品等の利用に関する助言及び指導に関すること。
- (6) 美術作品等の寄贈及び寄託に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、学芸事務に関すること。

(職及び職務)

第4条 美術館に館長、副館長、課に課長、係に係長を置き、必要に応じ、参事、主幹、主任主査、専門学芸員、主査、主任学芸員、事務主任、主事、学芸員、主任運転手及び運転手を置く。

- 2 館長は、上司の命を受け、館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
- 3 参事は、上司の命を受け、美術館の事務に関する企画及び調整に参画する。
- 4 副館長は、館長の職務遂行を補佐し、館長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 5 主幹は、上司の命を受け、館長が定める特定の事務を掌理する。
- 6 課長は、上司の命を受け、課の事務を処理する。
- 7 係長は、上司の命を受け、係の事務を処理する。
- 8 主任主査は、上司の命を受け、館長が定める特定の事務を処理する。
- 9 専門学芸員は、上司の命を受け、館長が定める特定の専門的な事務を処理する。
- 10 主査は、上司の命を受け、美術館の事務の一部を分担処理する。
- 11 主任学芸員は、上司の命を受け、係の事務のうち特定の事務を処理する。
- 12 事務主任は、上司の命を受け、係の事務の一部を分担処理する。

- 13 主事は、上司の命を受け、事務をつかさどる。
- 14 学芸員は、上司の命を受け、専門的な事務を処理する。
- 15 主任運転手は、上司の命を受け、担任の自動車運転の業務を処理する。
- 16 運転手は、上司の命を受け、自動車運転の業務に従事する。

(休館日)

第5条 美術館の休館日は、次の各号に掲げる日とする。ただし、教育委員会は、必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、その日後のその日に最も近い休日でない日）
- (2) 1月1日から同月4日まで及び12月28日から同月31日まで

(開館時間)

第6条 美術館の開館時間は、午前9時30分から午後5時（入館は、午後4時30分）までとする。ただし、毎年7月及び8月の金曜日については、午前9時30分から午後8時（入館は、午後7時30分）までとする。

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、これを臨時に変更することができる。

(観覧券の交付)

第7条 条例第4条の規定により、観覧料を納付した者に対して観覧券（第1号様式）を交付しなければならない。

(撮影等の許可及び料金)

第8条 条例第5条第1項に規定する撮影、模写又は模造等（以下「撮影等」という。）をしようとする者は撮影等許可申請書（第2号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、撮影等を許可したときは、撮影等許可書（第3号様式）を交付する。

(観覧料等の減免)

第9条 条例第6条第2号又はいわき市障害者、高齢者及び児童生徒等の利用に係る公の施設の使用料の減免に関する条例（平成13年いわき市条例第56号）第5条第1項の規定により観覧料又は撮影等料金の減免を受けようとするときは、観覧料・撮影等料金減免申請書（第4号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請があつた場合において、観覧料又は撮影等料金の減免を決定したときは、観覧料・撮影等料金減免通知書（第5号様式）を交付する。

(観覧料等の返還)

第10条 条例第7条の規定により観覧料又は撮影等料金の返還を受けようとする者は、その理由を記載した観覧料・撮影等料金返還申請書（第6号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

(美術館協議会の会長及び副会長)

第11条 条例第10条に規定するいわき市立美術館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長各1人を置き、それぞれ委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第12条 協議会の会議は、会長が招集し、会長が会議の議長となる。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務処理及び服務)

第13条 美術館における事務処理及び服務については、いわき市教育委員会事務局処務規程（昭和47年い

わき市教育委員会訓令第2号)に基づく事務処理及びサービスの例による。

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、昭和59年4月1日から施行する。ただし、第5条から第10条までの規定は、昭和59年4月28日から施行する。

(略)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則 (平成22年3月31日いわき市教委規則第5号)

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

第1号様式 (第7条関係)

その1

常 設 展 観 覧 券	(切)	常 設 展 観 覧 券
金 額 取		金 額 取
この券をもって領取に代えます。		
いわき市立美術館		いわき市立美術館

その2

特 別 展 観 覧 券	(切)	特 別 展 観 覧 券	常 設 展 観 覧 券
金 額 取		金 額 取	取
この券をもって領取に代えます。			
いわき市立美術館		いわき市立美術館	いわき市立美術館

- 備考 1 寸法、デザイン等については、その都度定める。
2 観覧券の区分は、一般、高校生・高等専門学校生・大学生及び小学生・中学生とする。

第2号様式 (第8条関係)

撮影等許可申請書
いわき市教育委員会殿

		年 月 日	
注 太枠線のみ記入してください。	申請者	住所又は所在地	
	氏名又は名称及び代表者		
第 号 年 月 日許可	電話	-	
美術作品の名称	作者名	点数	
日時	年 月 日	時 分	から 時 分まで
目的			
方法 撮影 模写 模造 熟覧 拓本			
料 金	撮 影	モノクローム	点 円 計
		カラール	点 円
	模写・模造		点 円
	熟覧・拓本		点 円 円
		館長	副館長 課長 係長 係

第3号様式 (第8条関係)

撮影等許可書
殿

いわき市教育委員会印

下記のとおり撮影等を許可します。

第 号 年 月 日許可			
美術作品の名称	作者名	点数	
日時 年 月 日 時 分から 時 分まで			
目的			
方法 撮影 模写 模造 熟覧 拓本			
料 金	撮 影	モノクローム	点 円 計
		カラール	点 円
	模写・模造		点 円
	熟覧・拓本		点 円 円
指示事項			

第4号様式（第9条関係）

観覧料
撮影等料金 減免申請書

いわき市教育委員会

年 月 日

住所（所在地）
申請者 氏名（名称及び代表者氏名）
電話番号
担当者氏名

注意 太枠の中だけ記入してください。

観覧日時 年 月 日 時 分から 時 分まで		撮影等日時 年 月 日 時 分から 時 分まで	
区 分	常設展	特別展	撮 影 等
一 般	人	人	写真撮影 モノクローム 点
高 校 生 高等専門学校生 大 学 生	人	人	カ ラ ー 点
小 学 生 中 学 生	人	人	模 写 ・ 模 造 点
計	人	人	熟 覧 ・ 拓 本 点
計 点			
減免申請の理由			
<input type="checkbox"/> 減免する。 <input type="checkbox"/> 減免しない。		減免しない理由 前付すべき観覧料等 円 減免率 減免後の観覧料等 円 起 案 年 月 日 決 裁 年 月 日	
館長	副館長	課長	係長 係員
施行 年 月 日			
許可番号 第 号			

第5号様式（第9条関係）

観覧料
撮影等料金 減免通知書

様

年 月 日

いわき市教育委員会 印

申請年月日 年 月 日		許可番号 第 号	
観覧日時 年 月 日 時 分から 時 分まで		撮影等日時 年 月 日 時 分から 時 分まで	
区 分	常設展	特別展	撮 影 等
一 般	人	人	写真撮影 モノクローム 点
高 校 生 高等専門学校生 大 学 生	人	人	カ ラ ー 点
小 学 生 中 学 生	人	人	模 写 ・ 模 造 点
計	人	人	熟 覧 ・ 拓 本 点
計 点		計 点	
減免率		減免率	
減免後の観覧料		減免後の撮影等料金	

第6号様式（第10条関係）

観覧料
撮影等料金 返還申請書

いわき市教育委員会殿

下記のとおり観覧料の返還を受けたいので申請します。

年 月 日	
注 太枠のみ記入してください。	申請者 住所又は所在地
	氏名又は名称及び代表者
第 号 年 月 日許可	電話 -
申請理由	
既納観覧料等 観覧料 枚 円 撮影料等 枚 円	
返還申請金額 円	
館長	副館長 課長 係長 係員

当初予算

単位：千円

項 目	金 額	備 考
人 件 費	90,443	
管 理 費	87,580	各種委員報酬、各種委員謝金、調査研修費、基金積立金、施設運営
施設管理費	81,386	
作品購入費	0	
施設整備費	6,194	
事 業 費	67,081	
企画展示事業費	63,816	
常設展示事業費	767	
教育普及事業費	2,141	
調査研究費	357	
彫刻のある街づくり事業費		
計	245,104	

平成23年度 いわき市立美術館 事業経過報告

展 覧 会 名	開催期間日 (日数)	料 金						入 場 者 数						23 年 度 計			
		一 般			団 体			一 般			団 体				招待	無 料 減 免 ・ 祝 日 ・ 見 学 ・ 幼 児 ・ 企 画 から	
		一般	高大	小中	一般	高大	小中	一 般	高大	小中	一 般	高大	小中				
常 設 展	前 期	4/30～9/25 130日間	210	140	70	160	110	50	151	14	5	18	-	-	937	3,291	4,416
	後 期	9/27～3/31 154日間	210	140	70	160	110	50	530	41	25	44	-	-	652	3,009	4,301
	常 設 展 計 (A)	309日間							681	55	30	62	-	-	1,589	6,300	8,717
企 画 展	アルフォンス・ミュシャ展 中止	4/9～5/22 39日間	1,100	500	200	880	400	160	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	第40回市民美術展覧会(書の部)	4/30～5/8 9日間	無			料			879							9	888
	ラファエル前派の水彩画-バーンジョーンズに挑戦	4/30～5/28 27日間	無			料			1,278							24	1,302
	香水瓶の世界 中止変更 未来のためのアート展	5/31～6/30 32日間	無			料			1,019	74	121					111	1,325
	福岡アジア美術館展 元気をもらおう	7/16～9/4 45日間	800	400	200	640	320	160	730	48	38	86	-	-	583	1,498	2,983
	北斎展 中止変更 いま、つくりたいもの、伝えたいこと。	9/17～10/23 32日間	400	200	100	320	160	80	641	22	23	71	-	-	742	919	2,418
	ユーモアのすすめ 福田繁雄大回顧展	11/12～12/18 32日間	1,000	500	200	800	400	160	949	60	52	58	2	-	924	882	2,927
	ニューアート・シーン ・イン・いわき 吉田 精利展	11/12～12/18 32日間	無			料			1,875	136	299					118	2,428
	小・中学生版画展	1/5～1/16(前期) 1/19～1/30(後期) 22日間	無			料			4,537	31	2,974					555	8,097
	第41回いわき市民美術展覧会 (絵画・彫塑の部)	2/11～2/19 8日間	無			料			2,467							59	2,526
	(陶芸の部・写真の部)	2/24～3/4 9日間	無			料			2,529							58	2,587
	(書の部)	3/9～3/18 9日間	無			料			1,389							24	1,413
	企画展計(B)								18,293	371	3,507	215	2	-	2,249	4,257	28,894
展 覧 会 事 業 計								18,974	426	3,537	277	2	-	3,838	10,557	37,611	
普 及 事 業 計															4,494	4,494	
合 計								18,974	426	3,537	277	2	-	3,838	15,051	42,105	

平成23年度 普及事業報告

平成24年3月31日現在

事業名	内 容 等	月 日	人数
移動美術館	みんなで元気になるワークショップ・キャラバン「ハートマーク・ヴューイング」	9月2日	240
	彫刻っておもしろい!	11月4日	54
小 計			294
講 演 会	「アジア美術を語る」	7月31日	20
	「アーティスト・トーク 吉田精利 自作を語る」	11月12日	9
	スペシャル・ギャラリートツアー「日比野さんといっしょ」	12月11日	70
小 計			99
美術講座	ティーチャーズ・ミュージアム	8月10日	14
	小教研図画・工作科研究研修会 色彩ワーク「色の不思議、色の力」	10月18日	18
小 計			32
ギャラリー・トーク	常設展	毎週土曜日(35回開催)	4
	企画展		
	未来のためのアート	6月11日、6月25日	9
	福岡アジア美術館コレクション展	7月17日、8月14日、8月28日	27
	ユーモアのすすめ 福田繁雄大回顧展	11月20日、12月4日	18
	団体等解説錦星幼稚園、他8	通年	279
小 計			337
実 技 講 座	初めての銅版画 11	7月、8月の隔週金曜日(全8回)	14
	屋外ポートレート撮影入門	11月20日、12月4日、12月18日	10
	吊るし飾り講座	3月3日、3月10日、3月17日、3月24日	20
小 計			44
公 開 制 作	吉田精利のカメラアイ	11月20日	10
小 計			10
ワークショップ	みんなで元気になるアート・ワークショップ「ハートマーク・ヴューイング」、他	通年(12講座)	1,457
	みんなで元気になるアート・ワークショップ・キャラバン「元気の出る発声ワークショップ」、他	通年(2講座)	171
	2011夏“美術館的”自由研究のススメ	8月3日、8月4日、8月5日	11
	光の鳥を飛ばそう	9月17日、10月22日	17
	想い浮かべる空①②	9月24日、10月9日	24
	ワークショップ「二次元的三次元的二次元」	12月11日	16
	プリントコーナー&版画の広場	1月5日～1月29日	413
	わくわくアートスクール「カセットプラントファクトリー—子どもの方舟—いのちをかんがえる」	1月21日、1月22日	71
	絵画と写真の接点—自然の美しい色彩を探そう—(平第一小学校)	3月9日	85
	絵画と写真の接点—自然の美しい色彩を探そう—	3月10日、3月11日	8
	小 計		
コンサート&パフォーマンス	姜泰煥来日記念ソロ・コンサート「山河を鎮魂する」	9月15日	80
	朗読&トーク「詩の礎、詩の力」	9月25日	70
	春を祝う—にぎやかな木管五重奏—NHK交響楽団メンバー木管五重奏団による—	1月15日	230
	篠原有司男のボクシング・ペインティング	3月4日	100
	糸の森の中で…“いのち”へ響くコンサート	3月31日	170
小 計			650
映像鑑賞会			
小 計			-
実 技 講 習 室 の 開 放	制作活動、実技講習、実技相談等	4月1日～3月31日	182
小 計			182
共 催 事 業	デッサン教室参加者発表会	7月3日～31日	388
	裸婦デッサン会	9月10～11日	60
	市美展 絵画・彫塑の部 招待作家による入選作品批評会	2月11日	35
	市美展 写真の部 招待作家による入賞作品解説会	2月26日	40
	市美展 書の部 審査員による作品解説会	3月11日	50
小 計			573
合 計			4,494

- A. 美術館協議会
B. 美術館
C. 職員名簿

A. 美術館協議会委員名簿

任期：平成22年4月1日～平成24年3月31日

役職	氏 名	職 業 (役職名)
会 長	齋藤 一彦	(社)いわき観光まちづくりビューロー会長
副会長	吉田 隆治	いわき地域学会代表幹事
委 員	猪狩ひろ子	いわき女性の会会長
委 員	井澤 義雄	(社)いわき青年会議所OB会 会社役員
委 員	磯上 芳久	高校美術工芸部会代表 湯本高校教諭
委 員	織田 千代	美術家
委 員	草野 怜子	美術家 画廊経営者
委 員	小井戸雅典	前中学校教育研究会美術専門部長
委 員	坂本美知子	(株)いわき市民コミュニティ放送制作部パーソナリティ
委 員	高澤 昭子	前小学校教育研究会図画工作科研究部長(磐崎小学校長)
委 員	蛭田 房子	国際ソロプチミストいわき会長
委 員	蛭田 誠	いわき美術協会事務局長
委 員	峰 丘	いわき市立美術館友の会会長
委 員	武藤美智子	ブッドレア会会長
委 員	山本 伸樹	美術家

【博物館法】

第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者並びに学識経験を有する者の中から当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

B. 美術品選定評価委員会委員名簿

任期：平成22年4月1日～平成24年3月31日

役職	氏 名	職 業 (役職名)
委員長	谷 新	美術評論家(宇都宮美術館長)
委 員	北郷 悟	彫刻家(東京藝術大学副学長)
委 員	市川 政憲	美術評論家(茨城県近代美術館長)
委 員	清水 真砂	美術評論家(世田谷美術館事業部長)

C. 職員名簿

平成24年4月1日現在

	職 名	氏 名
	館 長(兼)	馬 上 勝 利
	参事(兼) 副館長	佐々木 吉 晴
《庶務課》	課 長	戸 松 博 通
○庶務係	係 長(兼)	戸 松 博 通
	主 査	山 崎 京 子
	主 査	勝 沼 直 美
《学芸課》	主 幹(兼) 課 長	平 野 明 彦
○学芸係	主任主査(兼)係長	杉 浦 友 治
	主 査	下 山 田 洋 子
	主 任 学 芸 員	秋 葉 啓 子
○普及係	主任主査(兼)係長	堀 越 達 雄
	主 任 学 芸 員	石 川 百 合 子
	主 任 学 芸 員	植 田 玲 子

管 理 ・ 運 営
利 用 案 内

●開館時間

午前9時30分～午後5時（展示室への入場は午後4時30分まで）

7、8月の毎週金曜日は、夜8時まで開館。（展示室への入場は午後7時30分まで）

●休館日

毎週月曜日（ただし月曜日が祝日等の場合は開館し、翌日休館）

年末年始（12月28日～1月4日）

●観覧料

	常設展	企画展（その都度定める）
一 般	210円（160円）	1,500円（1,200円）以内
高・高専・大学生	140円（110円）	740円（590円）以内
小・中学生	70円（50円）	440円（350円）以内

※（ ）内は、20名以上の団体割引料金です。
※企画展チケットで常設展もご覧になれます。
※国民の祝日は、常設展の観覧が無料です。

●企画展・常設展が無料になる場合

- ・市内在住の65歳以上の方
- ・身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方
- ・市内の小学校、中学校、高等学校、専修学校、高等専門学校に在学の方（但し、土曜日、日曜日に限る）

●図書室の利用時間

午前9時30分～午後5時

7月、8月の毎週金曜日は夜8時まで

●実技講習室の利用時間

午前9時30分～午後4時45分

7月、8月の毎週金曜日は夜7時45分まで

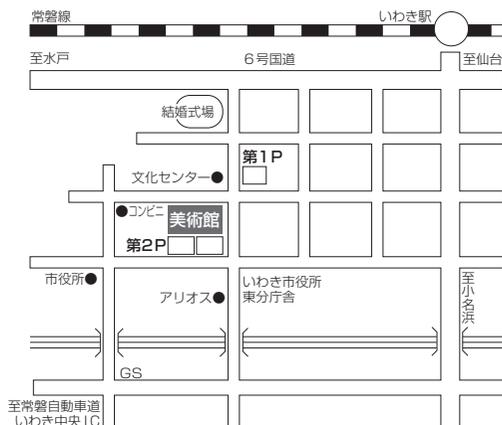
●交 通

J R常磐線、磐越東線いわき駅より徒歩12分

常磐自動車道、磐越自動車道いわき中央ICより10分

駐車場：美術館駐車場（第1、第2があります。74台）

●地 図



1. いわき市の被害状況

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、当地において最大震度6弱を観測した。190秒を越える揺れ、8mを越える津波により300名を超える尊い命が奪われ、85,000世帯を超える住宅が被害を受けた。

いわき市の被害規模は、東北各地の被災地の中でも仙台市に次ぐ大きさであり、今もなお、地震・津波の被害のみならず、原子力発電所の事故と放射能汚染、風評被害など、困難な問題の中にある。

東日本大震災によるいわき市の被害状況

平成24年3月現在

区分		被害数	備考
人的被害	死者	310名	
	行方不明者	37名	
住家被害	全壊	7,777棟	調査継続中。
	大規模半壊	7,068棟	
	半壊	24,183棟	
	一部損壊	46,786棟	
非住宅被害	公共施設	118棟	
	その他	2棟	
市外へ避難しているいわき市民		7,734名	3,538世帯。全国避難者システムの登録者数から、いわきに戻った市民を引いた実数。
いわき市内への他市町村からの避難者		22,532名	

2. 美術館の被害、活動への影響

3月11日(金)は、第40回いわき市民美術展覧会書の部の初日にあたり多くの来館者があった。

地震発生直後の来館者の避難誘導にトラブルはなかったが、長いゆれにより展示場の移動壁、仮設パネル等が大きく移動、作品が壁から落ち、天上ルーバが一部ズレを生じ、照明器具がソケット部分で破断し宙吊りになるなど危険な状態に陥った。また、書架の倒伏など図書室、実技講習室、ロビーまわりの混乱も甚だしく、本震なみの余震の発生がささやかれる中、展覧会の続行は不可能と判断し、即日、期限を設けない臨時休館とした。

これにともない、3月11日以降に計画していた23年度作品選定評価委員会、23年度第2回美術館協議会を中止し、また市美展書の部揮毫会および表彰式、収蔵作家によるワークショップ「百瀬寿のももいろワークショップ」など、各種事業も中止を余儀なくされた。さらに、余震や放射能問題から中止変更を余儀なくされた企画展もあり、平成23年度展覧会事業の計画は別表の通り変更された。

結果、翌年度4月30日の再オープンまで、49日間の休館となった。その間は、できるだけ早い再開に向けて建物の安全確認、被害調査と復旧作業、また、4月以降に開催予定の各種事業の再編成などにあたった。

1) 23年度展覧会事業への影響

事業名	対応	備考
常設展前期 I (予定：4月1日～6月26日)	変更	会期を変更して開催。 常設展前期 I 4月30日～6月26日
生誕150年展 アルフォンス・ミュシャ展 (予定：4月9日～5月22日)	中止	ポスター等印刷物が納品されるなど、開催に向けての準備はほぼ完了していたが、震災直後より、海外レンダーから放射能に対する懸念が寄せられたこと、また、1ヶ月後のオープンに向けて当館の受け入れ態勢が整わないこと、市民生活の正常化の見通しが立たないことなどから開催を断念。
第40回市民美術展覧会 (書の部) 4月30日～5月8日	新規	3月11日に中断した市美展(書の部)を再開するかたちで開催。
「ラファエル前派の水彩画 バーン・ジョーンズに挑戦」 作品発表会 4月30日～5月29日	新規	前年度開催したワークショップ「ラファエル前派の水彩画バーン・ジョーンズに挑戦」の参加者の作品27点を1階ロビーに展示。 前年度3月27日～4月10日の当初予定を中止、改めて新年度企画として開催。
きらめく装いの美 香水瓶の世界 (予定：5月31日～6月30日)	中止	放射能に対する懸念から海外の所蔵家から作品借用ができなくなり、また、余震に対する不安等により国内の所蔵家から作品借用が拒否されたことにより、開催中止。
未来のためのアート 5月31日～6月30日	新規	所蔵作品を中心に、アートとの出会いを復興支援に繋げることを目的に開催。「きらめく装いの美 香水瓶の世界」に代えて実施。
アジア美術が来るぞ！アジアから元気をもらおう！ 福岡アジア美術館コレクション展 7月16日～9月14日	変更なし	タイトルを変更して開催。 当初のタイトル：アジア美術が来るぞ！福岡アジア美術館コレクション展 原発事故の影響から、作品借用にあたり作品の被曝調査を実施。
ホノルル美術館所蔵 北斎展 (予定：9月17日～10月23日)	延期	アメリカ政府による原発80km圏外への避難指示に基づき、作品借用先であるホノルル美術館から、当館への貸し出しを延期する旨の通達が届き、開催を断念。
いま。つくりたいもの、伝えたいこと。 9月17日～10月23日	新規	いわきで被災した作家たちが震災後に手掛けた新作、および全国から一般公募した平面作品を展示し、それぞれの「いま」を浮き彫りにする展覧会。 「ホノルル美術館所蔵 北斎展」に代えて開催。
ユーモアのすすめ 福田繁雄 大回顧展 11月12日～12月18日	変更なし	立ち上げ館の岩手県立美術館が開催見送り。いわきを除く巡回各館で被災地支援の募金を実施。募金者配布用の特製シールをいわき展来館者には特別プレゼント。
平成23年度小中学生版画展 1月5日～1月29日	通常開催 (一部変更)	展示高さを270cm、仮設パネルの使用を抑えるなど募集要項を一部変更し余震に備えた。
第41回いわき市民美術展覧会	変更なし	例年通り開催。

2) 展示作品・収蔵作品に関して

①展示場内の作品



企画展示室では市民美術展（書の部）を開催。企画展示室1の可動壁は大きく動き、企画展示室2では仮設パネル（ガラスケース）が最大5m程移動する状況であった。そのような中、S環を使った展示、屏風立て作品など一部作品を除き、縦長作品（ワイヤー1本吊り）も横長作品（2点吊り）も傾く程度で概ねの作品に大きな損傷はなかった。しかし、ロビーに設置した仮設パネルが全て倒伏。パネル仕立ての作品などの表面が損傷。

常設展示室では、展示中の彫刻作品の倒伏、ワイヤー吊り作品の傾き、キャスター付ののぞきケース（高さ70cm）の移動などが起こったが、損傷を受けた作品は倒伏した彫刻作品のみであった。

②収蔵庫内の作品

i) 収蔵庫1（立体作品を中心に収蔵）



重心の高い重量作品の転倒。狭い空間で折り重なるように倒れた作品の損傷大。陶、ガラス作品の破損。

- ・作品の転倒による自損、他損による損傷。
- ・台座上の石膏原型が落下、破損。
- ・棚からの落下による損傷。
- ・モバイル作品の可動パーツの落下。

ii) 収蔵庫2（油彩画を中心に収蔵）



ストッパーをかけていなかったラックが大きく動いたと見られ、その際に向かい合わせの作品同士の擦れによると思われる損傷が多く確認。ラックにかけた作品の落下、傾き多数。その他、壁や仮設柱（突っ張り棒）等に立てかけ仮置きされた作品の倒伏多数。

- ・作品同士の接触、または転倒による作品表面のスレ、押し傷など
- ・作品同士の接触、または転倒による絵具等の付着、汚れなど
- ・額アクリルのスレ、破損など

iii) 収蔵庫3（版画等を中心とした収蔵）



一部ずり落ちそうな状況が見られるなど、棚の中で暴れた様子であるが、大きな損傷を受けた作品は無かった。

- ・額ガラス割れ1点。

収蔵作品被災状況（余震（4月11日、4月12日）による被害を含む）

所在 \ 種別	平面Ⅰ	平面Ⅱ	平面Ⅲ	立体作品	合計（点）
収蔵庫 1		1		18	19
収蔵庫 2	27			1	28
収蔵庫 3		1			1
仮収蔵庫	21				21
常設展示室				1	1
常磐収蔵庫				3	3
屋外				1	1
合計（点）	48	2	0	24	74

3) 建物及び外構の被害

3月31日におこなった建物の安全確認調査（三井住友建設株式会社東北支店）の報告によれば、敷地内歩道の地盤沈下と床材（平板ブロック）の大きな暴れ、建物外装の石が一部破損、天窓梁の微細なひび割れ、地下階段のヒビ割れ等が指摘されたものの、「建物周囲の大きな地盤沈下が見られるが、建物自体に沈下や傾斜は見られず、構造体の一部に見られるひび割れが、いずれも微細なものであることから建物全体の被害状況としては「軽微」と診断された。この調査結果が「4月30日の再オープン」の大きな判断基準となった。

その後、5月4日に文部科学省による「東日本大震災に係る被災度区分判定調査」により、「構造被害は軽微である。建物の基礎には被害はなく、沈下や傾斜はないが周辺地盤の変状は著しい。」と判定。詳細な状況は次の通り。

- ・敷地内歩道に大きな沈下、床材（平板ブロック）が大きく変動
- ・建物外装の石が一部破損、落下
- ・展示室の天井仕上げ材（ルーバー）の一部落下
- ・収蔵庫の壁・天井に漏水跡
- ・天窓梁に微細なひび割れ
- ・地下階段のヒビ割れ
- ・階段室で各フロアーラインに沿った軽微なヒビ割れ
- ・その他



4) 復旧・復興に向けて

外構の修繕は平成23年7月中にはほぼ完了（翌24年度に災害復旧国庫補助事業に申請予定）。作品の修復は、24年度の実施に向けて準備中である（翌24年度に災害復旧国庫補助事業に申請予定）。また、放射能対策として館内の空間放射線の測定をアジア美術館展の開催に併せて開始、引き続き観測を継続している。

平成23年度
いわき市立美術館年報

編集・発行
いわき市立美術館
〒970-8026 いわき市平字堂根町4-4

